

工 事 名

大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)

工 事

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

春日部市大沼七丁目地内

用途地域 第一種中高層住居専用地域

2. 敷地面積

33,387.00

m<sup>2</sup>

3. 工事種目  
(建物概要)

2 棟 軽量鉄骨造 1 階建て(地下 階・PH 階)

建築面積

139.62×2=279.24

m<sup>2</sup>

延べ面積

139.62×2=279.24

m<sup>2</sup>

床面積

139.62×2=279.24

m<sup>2</sup>

1 階

139.62×2=279.24

m<sup>2</sup>

階

m<sup>2</sup>

階

m<sup>2</sup>

階

m<sup>2</sup>

階

m<sup>2</sup>

4. 工 期

契約工期 契約確定日から令和8年8月28日まで  
主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 現場施工に着手するまで  
現場代理人の現場への常駐を要しない期間 現場施工に着手するまで  
現場施工期間 契約確定日から令和9年7月31日まで

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。  
「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下記表のとおりとする。  
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

② 仮設工事

※工事範囲全て

③ 土工事

仕様書参照 図面に記載の内容

④ 地盤工事

仕様書参照 図面に記載の内容

⑤ 鉄筋工事

仕様書参照 図面に記載の内容

⑥ コンクリート工事

仕様書参照 図面に記載の内容

7 鉄骨工事

8 コンクリート・ALCパネル  
・押出成形セメント板工事

9 防水工事

10 石 工 事

11 タイル工事

12 木工事

⑬ 屋根及びとい工事

14 金属工事

15 左官工事

⑯ 建具工事

仕様書参照 図面に記載の内容

17 カーテンウォール工事

18 塗装工事

19 内装工事

20 ユニット及びその他の工事

⑰ 排水工事

仕様書参照 図面に記載の内容

22 舗装工事

23 植栽及び壁上緑化工事

II 建築工事仕様

（1）質問回答書、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「春日部市建築工事特別共通仕様書」及び国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下、「標準仕様書」という。）による。  
法令・基準・仕様書等は原則として施工時において最新のものを適用する。  
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。  
（2）標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。  
（3）特記仕様書の表記  
1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
2）特記事項は、「○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。」  
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。○印と※の場合は、○のみを適用する。  
3）特記事項に記載の「. . .」内の表示番号は、「春日部市建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。  
4）特記事項に記載の「（. . .）」内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。  
5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また「（）」内は製品名を示す。  
6）本工事において、「環境物品等の調達推進に関する基本方針」及び、「埼玉県グリーン調達推進方針」による特定調達品目のうち、「判断基準」を満たす環境物品等（以下「特定調達物品等」という）を選択するよう努めるものとする。  
なお、☒印は設計図書で定めのある品目を示す。  
7）注は標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

① 一般共通通事項

② 条件明示事項

保険の種類 [1.1.3]  
②法定外の労災保険（工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの）  
③建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの）  
④請負業者賠償責任保険等  
保険の期間 ③工事完成期日後14日を含む期間

③ 工事実績情報①から④のコリンズへの登録

※行う（請負代金額500万円以上、10日以内に登録） ・行わない (1.1.4) [1.1.8]

④ 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。  
・風圧力 風速 (Vw:46 m/s) 地表面粗度区分:Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ  
・積雪荷重 H12.5.31告示第1455号における区域 別表（24）

⑤ 別契約の関連工事

※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主動的に調整する。(1.1.7)  
・監督員指定の別契約工事を行う全体調整に全面的に協力する。

6 施工に注意を要する区域等

本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 (1.1.12、13)及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。  
・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物

⑦ 工事の記録

春日部市建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。(1.2.4) [1.6.5]

⑧ 電気保安技術者

適用する (1.3.3) [1.3.1]

⑨ 施工条件

施工時間 (1.3.5)  
※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。  
ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。  
・以下の期間を除いた現場所日数(割合が25.5(8/28))以上であること  
年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間  
指定期間( )  
施工時間以外の施工条件  
・図示による

⑩ 施工中の安全確保

本工事の受注者は、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全衛生管理義務者）とする。(1.3.7)

⑪ 施工中の環境保全等

建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。(1.3.10)

⑫ 発生材の処理等

引渡しを要するもの (1.3.11) [1.1.12]  
※無し（全て構外搬出適正処理） ・有り（※図示 ・ ）  
注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調査を添えて監督員に報告する。  
b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。  
c) 引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。

⑬ 県産品の使用

受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。

⑭ 環境への配慮

建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質 (1.4.1) [1.4.3]及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。  
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティックボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。  
② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。  
③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等）を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。  
④ ①の材料等を使用して作られた家具、音楽、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⑮ 材料の品質等

※本工事に使用する材料等は、設計図面に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。  
※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。  
① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること  
② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること  
③ 安定的な供給が可能であること  
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること  
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること  
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること  
※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁）に準拠した証明書を監督員に提出する。

⑯ 技能士

適用工事種別

技 能 検 定 作 業

仮設工事

○とび作業

鉄筋工事

○鉄筋組立作業

コンクリート工事

○型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業

鉄骨工事

・構造物鉄工事作業 ・とび作業

コンクリート・ALCパネル  
・押出成形セメント板工事

・エーレンベルグ工事作業

防水工事

・防水材防水工事作業 ・ウレタン系塗膜防水工事作業  
・アクリル系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系防水工事作業  
・塩化ビニル系防水工事作業 ・シート系防水工事作業  
・FRP防水工事作業

石工事

・石張り作業

タイル工事

・タイル張り作業

木工事

・大工工事作業

屋根及びとい工事

・内外装板金作業

金属工事

・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業

左官工事

・左官作業

建具工事

・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業

カーテンウォール工事

・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業  
・ガラス工事作業

塗装工事

・建築塗装作業 ・木工塗装作業

内装工事

・フローリング床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業  
・ボード仕上げ工事作業 ・壁装作業 ・保温保冷工事作業

排水工事

・建築配管作業

舗装工事

・溶融・圧入・モルタル工事作業 ・加熱・圧入・モルタル工事作業

植栽工事

・造園工事作業

その他

・コンクリート打掛工事作業

⑰ 施工計画書

※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承諾を受ける。(1.2.2)  
※総合施工計画書（工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む）  
※工種別施工計画書  
○仮設工事 ○土工事 ○地盤工事 ○鉄筋工事 ○型枠工事 ○コンクリート工事  
○鉄骨工事 ・コンクリート打掛工事 ・ALCパネル工事 ・押出成形セメント板工事  
・防水工事 ・石工事 ・タイル工事 ・木工事 ○屋根工事 ・金属工事  
・左官工事 ・鋼製建具工事 ・木製建具工事 ・カーテンウォール工事 ・塗装工事  
・内装工事 ・ユニット工事 ○排水工事 ・舗装工事 ・植栽工事  
※その他監督員が必要と認めるもの (1.5.9)

18 化学物質の濃度測定

対象化学物質

判定基準

備考

ホルムアルデヒド

100 μg/m<sup>3</sup> (0.09ppm) 以下

※厚生労働省「トルエン」260 μg/m<sup>3</sup> (0.07ppm) 以下 が定める指針値

キシレン

200 μg/m<sup>3</sup> (0.05ppm) 以下

換算は25℃

エチルベンゼン

3,800 μg/m<sup>3</sup> (0.88ppm) 以下

スチレン

220 μg/m<sup>3</sup> (0.05ppm) 以下

パラジクロロベンゼン

240 μg/m<sup>3</sup> (0.04ppm) 以下

測定方法

採取及び分析は、法令に基づき空气中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。  
①検体の採取方法 ※吸引方式(アクティブ法)又は拡散方式(パッシブ法)  
・吸引方式(アクティブ法) ・拡散方式(パッシブ法)  
②アクティブ法  
ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法(以下HPLC)により行う。  
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法(以下GC/MS)により行う。  
③パッシブ法  
ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、HPLC又はガスクロマトグラフ法(以下GC)あるいはAHMT-吸光光度法のうち採取機器に適合した分析法による。  
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適合した分析法による。

19 中間検査

中間検査 ※行う（春日部市工事検査規則） ・行わない (1.6.2) [1.5.1]  
中間検査実施回数( ) 実施段階( ) 監督員の指示による  
中間検査成績判定 ※対象外 ・対象（春日部市建築工事成績評定要領第2）

⑰ 完成図等

監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱表第1 (1.7.1~3) [1.6.1~3]に示す書類を原則電子データで提出する

完成図等の種類及び記入内容

完成(竣工)図（※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの）  
図面情報電子化媒体 ※CD-R又はDVD-R、1部  
CADデータの形式 ・SKF(sfc) ・DXF ※JWW  
（埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。CADソフトのバージョンは監督員と協議する。）  
保全に関する資料（通常取扱いに注意を要するものを使用方法を解説する）  
完成写真（春日部市建築工事写真作成要領に基づき作成する）  
完成撮影は、春日部市が行う業務並びに春日部市が認めた広報に提供で使用できるものとする。  
撮影者 ※監督員の承諾する撮影者  
撮影箇所 ※外部（ ）内部（ ）  
着工時と完成時の状況を比較できるように撮影する  
○春日部市建築工事写真作成要領別表5  
原本及びアルバムを各1部提出  
原本(電子媒体:撮影時のJPG)及びアルバム(紙媒体又は電子媒体)を各1部提出  
パネル入り（外部前票）完成写真 ※更新しない  
施設CADデータ ・更新して提出 ○不要

⑰ 保証書

防水工事 ※壁上防水 ・外壁防水 ・金属屋根 ・建物引渡し日から10年間、受注者、施工者、材料メーカーの3者連名とし2部提出する。上記以外 1部提出

⑰ 工事用図面

工事用着手時原設計図 縮小製図 (A3版 A3版以上の設計図はA3に縮小) ※要（2部） 不要

23 その他

・予備材料 ※監督員の指示による ・  
下請契約 ※全体及び市内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。

⑱ 仮設工事

① 足場その他

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、（2.2.4）「同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。  
墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」（厚生労働省）による。  
・フルハネス型墜落制止用器具を用いる。  
幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を使用する。（労働安全衛生規則第561条の2）

2 監督員事務所

規模 ・既存建物内の一部を使用 ・構内に新設 m<sup>2</sup> (2.3.1)  
・構内に新設 m<sup>2</sup>  
・設置しない（下記備品のみ用意する）  
備品（ ）名分相当  
・机 ・椅子 ・棚 ・黒板 ・掛時計 ・寒暖計 ・長靴 ・雨合羽  
・保護帽 ・懐中電灯 ・墜落制止器具 ・軍手 ・衣類ロッカー  
・冷暖房機器 ・消火器 ・湯沸器 ・茶器 ・掃除用具 ・電話機  
・FAX ・電子メール通信機器 ・スキャナー ・プリンター

③ 現場表示板

※設置する ・設置しない (2.3.1)

④ 工事用水

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）

⑤ 工事用電力

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（別途施設調整を行うこと）

6 工事用搬入路

※図示 ・

⑦ 仮囲い

※設置位置等は監督員の指示による ・図示

⑧ 交通誘導員

必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。  
配置箇所 ※監督員の指示による ・図示

9 快道トイレ

仕様 ※図示 ・

⑳ 土工事

① 埋戻し及び盛土

埋戻し及び盛土の種類 (3.2.3)  
・A種 適用場所（ ）  
○B種 適用場所（基礎廻り）  
・C種 適用場所（ ）土質（ ）受渡場所（ ）  
・D種 適用場所（ ）  
（品質 細粒分（75 μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。）  
・材料（ ）  
・六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない

② 建設発生土の処理

○構外搬出適切な処理（搬出場所：（株）春日部資材 春日部市大沼新田281-1 ） (3.2.5)  
・構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き出し  
・UCRの受け入れに必要な土質調査を実施する。また、この調査による資料は他工区の工事でも利用する。

3 山留めの撤去

鋼矢板等の抜き跡 ※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる (3.3.3)

4 地盤工事

5 鉄筋工事

6 コンクリート工事

7 鉄骨工事

春日部市社会教育推進課

春日部市社会教育推進課

8 コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

2 コンクリートブロック帳壁及び塀

3 ALCパネル

4 押出成形セメント板（ECP）

9 防水工事

1 アスファルト防水

屋根保護防水  
防水層の種類

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料による区分 ※R種  
厚さ ※（ ）mm以上  
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.6による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料による区分 ※R種  
厚さ ※（ ）mm以上  
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料による区分 ※R種  
厚さ ※（ ）mm以上

高反射率防水の適用☒ ※適用しない  
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料による区分 ※R種  
厚さ ※（ ）mm以上

屋根露出防水  
防水層の種類

高反射率防水の適用☒ ※適用しない  
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料による区分 ※R種  
厚さ ※（ ）mm以上

ブロックの種類 (8.2.2、3、5、7、8)

断面形状及び圧縮強さ 正味厚さ 寸法(mm) 化粧の有無 適用箇所 備考  
※空洞ブロックC(16) 長さ 高さ 化粧の有無 適用箇所 備考  
・ 無 ・有  
・ 無 ・有  
モルタルの調合(容積比)※標準仕様書表8.2.1による ・セメント( )：砂( )  
各部の配筋 ※図示  
目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ  
まきを受ける開口部側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲 ※図示による

ブロックの種類 (8.3.2~7)

断面形状及び圧縮強さ 正味厚さ 寸法(mm) 化粧の有無 適用箇所 備考  
※空洞ブロックC(16) 長さ 高さ 化粧の有無 適用箇所 備考  
・ 無 ・有  
・ 無 ・有  
モルタルの調合(容積比)※標準仕様書表8.2.1による ・セメント( )：砂( )  
壁に用いるブロックの正味厚さ  
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※図示  
各部の配筋 ※図示  
充填するブロックの範囲 ※図示

ALCパネルの区分等 (8.4.2~5)

区分

単位荷重(N/m<sup>2</sup>)  
正荷重 負荷重

厚さ(mm)

幅及び長さ

耐火性能(時間)

構造の種類

・外壁用  
・一般  
・コーナー

・平  
・意匠

・

・

・なし  
・1

・A種・B種

・間仕切  
・一般  
・壁用  
・コーナー

・平  
・意匠

・

・

・なし  
・1

・C種・D種・E種

・屋根用

・

・

・

・0.5

※F種

・床用

・

・

・

・1  
・2

パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材 ・  
外壁、屋根パネルの構造  
建築基準法に基づき定まる風圧力の（1・1.15・1.3）倍の耐風圧性能  
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・  
目地幅  
パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅パネル接合部、パネルと他部材との取合い部の目地幅（mm） ※10~20  
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない

ECPの種類等

パネルの種類

形状

厚さ(mm)

幅(mm)

工法の種類

備考

・外壁パネル

・F(フットパネル)  
・D(デザインパネル)  
・I(アイベースパネル)

・50・60  
・50・60  
60

600

・A種  
・B種

・間仕切壁パネル

・F(フットパネル)  
・D(デザインパネル)  
・I(アイベースパネル)

・50・60  
・50・60  
60

600

・B種  
・C種

外壁パネルの工法における耐風圧性能  
建築基準法に基づき定まる風圧力の（1・1.15・1.3）倍の耐風圧性能  
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・  
パネル相互の目地幅（mm） ・短辺（ ）  
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅（mm） ※15程度  
耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネルの製造所の仕様  
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認の上、施工計画書を提出する。

孔あけ及び欠き込みの大きさ

切断後のパネルの残り部分の幅

パネルに孔あけを設ける場合

短辺 長辺

パネルに欠き込みを設ける場合

短辺 長辺

パネルの幅の1/2以下、かつ、300mm以下

500mm以下

パネルの幅の1/2以下、かつ、300mm以下

500mm以下

150mm以下

300mm以下

300mm以下

300mm以下

9 防水工事

1 アスファルト防水

屋根保護防水  
防水層の種類

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料による区分 ※R種  
厚さ ※（ ）mm以上  
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.6による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料による区分 ※R種  
厚さ ※（ ）mm以上  
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料による区分 ※R種  
厚さ ※（ ）mm以上

高反射率防水の適用☒ ※適用しない  
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料による区分 ※R種  
厚さ ※（ ）mm以上

屋根露出防水  
防水層の種類

高反射率防水の適用☒ ※適用しない  
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による  
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分  
材料による区分 ※R種  
厚さ ※（ ）mm以上

大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)工事

特記仕様書（その1）

2025.12.1

図面No. AA-01

<p>絶縁断熱工法のルーフレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 絶縁工法及び断縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・種類（ ） 設置数量（ ） 屋内防水 防水層の種類</p> <table> <tr> <th>種別</th><th>施工箇所</th><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>・E-1</td><td></td><td>・E-2</td><td></td></tr> </table> <p>保護層 ・設ける（※図示 ） ・設けない E-1の工程3を行う部位 ※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 防水層の地下の立上り ※コンクリート打放し仕上げ 標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げの種別]のB種</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 防水層の地下のモルタル塗り ・適用する（施工範囲 ※図示 ） ・適用しない 屋上排水溝 ※図示</p>	種別	施工箇所	種別	施工箇所	・E-1		・E-2		<p>2 改質アスファルトシート防水</p> <p>屋根露出防水 (9.3.2、3) (表9.3.1～3) 防水層の種類</p> <table> <tr> <th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 ㊦</th><th>防湿用シート</th><th>仕上塗料</th></tr> <tr> <td>・A-S-T1 ・A-S-T2 ・A-S-T3 ・A-S-T4 ・A-S-J1</td><td></td><td></td><td></td><td>種類 ※改質777材シートの製造所の仕様</td></tr> <tr> <td>・A-S-T1</td><td>(材質) ※標準仕様書9.3.2(3) (9)による</td><td>・設ける (改質777材シートの製造所の仕様による)</td><td></td><td>使用量 ※改質777材シートの製造所の仕様</td></tr> <tr> <td>・A-S-J1</td><td>(厚さ) ・25mm ・50mm</td><td>・設けない</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>高日射反射率防水の適用㊦ ・適用する ・適用しない 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ※（ ）mm以上 ・図示 外部に面するシーリング材の接着性試験 ※簡易接着性試験</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ※（ ）mm以上 ・図示 外部に面するシーリング材の接着性試験 ※簡易接着性試験</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ※（ ）mm以上 ・図示 外部に面するシーリング材の接着性試験 ※簡易接着性試験</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0(mm)程度 絶縁工法及び断縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルト製造所の仕様による ・種類（ ） 設置数量（ ）</p>	種別	施工箇所	断熱材 ㊦	防湿用シート	仕上塗料	・A-S-T1 ・A-S-T2 ・A-S-T3 ・A-S-T4 ・A-S-J1				種類 ※改質777材シートの製造所の仕様	・A-S-T1	(材質) ※標準仕様書9.3.2(3) (9)による	・設ける (改質777材シートの製造所の仕様による)		使用量 ※改質777材シートの製造所の仕様	・A-S-J1	(厚さ) ・25mm ・50mm	・設けない			<p>※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする (9.5.3) (表9.5.1～2) 防水層の種類</p> <table> <tr> <th>種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料</th><th>保護層</th></tr> <tr> <td>・X-1</td><td></td><td>種類・使用量 ※主材料の製造所の仕様</td><td></td></tr> <tr> <td>・X-2</td><td></td><td>種類・使用量 ※主材料の製造所の仕様</td><td></td></tr> <tr> <td>・Y-1</td><td>※地下外壁防水</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・Y-2</td><td>※屋内防水</td><td></td><td>・適用する ・適用しない</td></tr> </table> <p>(X-1、X-2) 高日射反射率防水の適用㊦ ・適用する ・適用しない ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様 ・種類（ ） 設置数量（ ）</p> <p>防水層の地下 (9.6.4) (表9.6.1) ・図示 天井部 ※コンクリート打放し仕上げ (表6.2.4 B種) 地下処理 コンクリートの打継ぎ箇所の処理 ※打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、メーサーメントを充填・図示 型枠締付け材にコーンが使用されている部位及びケイ酸質系塗布防水材の塗布面以外の地下処理 ・図示</p> <p>下表以外は、標準仕様書表9.7.1による (9.7.2～5) (表9.7.1) ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による</p> <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>シーリング材の種類 (記号)</th></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> </table> <p>仕上を行わない施工箇所（・図示による ） シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書表9.7.3(1) (ア)～(ウ)による ・図示 外部に面するシーリング材の接着性試験 ※簡易接着性試験</p> <p>注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。</p> <p>※設置する（ ）ヶ所 (2.1.2) (施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入)</p>	種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	・X-1		種類・使用量 ※主材料の製造所の仕様		・X-2		種類・使用量 ※主材料の製造所の仕様		・Y-1	※地下外壁防水			・Y-2	※屋内防水		・適用する ・適用しない	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)							<p>5 外壁乾式工法</p> <p>一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ) (目地幅及び深さ )</p> <p>伸縮調整目地 位置 ・6mm程度 シーリング材の種類 ※標準仕様書 表9.7.1による 目地寸法</p> <p>金物の種類、形状、寸法等 (10.2.2、3) (10.5.2、3) (表10.2.4) ※標準仕様書表10.2.4による 取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 あと施工アンカーの材質及び寸法等 種類・ 材質・ 寸法 だば用の穴の位置 ※標準仕様書10.5.2(2) (7)による ・図示 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 建築基準法に基づく風圧力の（・1、・1.15、・1.3）倍の風圧力に対応した工法 シーリング材 種類 ※標準仕様書 表9.7.1による 目地幅及び深さ</p> <p>透水性吸収防水剤 (10.6.2、3) (床石張り) ・適用する ・適用しない 石裏面処理 (床石張り) ・適用する ・適用しない (階段張り) ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 (床石張り) ・適用する ・適用しない ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ) (目地幅及び深さ )</p> <p>伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書 表10.6.2(5) (a)による ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書 表9.7.1による 目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示による</p> <p>取付け工法 ・湿式工法 ・乾式工法 特殊部位用金物 種類 ※標準仕様書10.2.2(3)参照 材質 ※ステンレス (SUS304) 寸法 だば かすがい 受金物 ファスナーの形状 ・スライド式 ・ロッキング方式 あと施工アンカーの材質及び寸法等 種類・ 材質・ 寸法 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ※70mm程度 石裏の補強用モルタル ・適用する ・適用しない 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ) (目地幅及び深さ )</p>	<p>3 造作用集材材 ㊦ (12.2.1)</p> <p>・「JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材」</p> <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>間伐材等の適用</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td>※1等</td><td>※10%以下 ・A種・B種</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>※1等</td><td>※10%以下 ・A種・B種</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>・JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>材面の品質</th><th>含水率</th><th>防虫処理の適用</th><th>間伐材等の適用</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td>( ) 造作材の場合 (※A種・B種)</td><td>※A種・B種</td><td>・適用する ・適用しない</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>造作材の場合 (※A種・B種)</td><td>※A種・B種</td><td>・適用する ・適用しない</td><td></td></tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種名</th><th>材面の品質</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>間伐材等の適用</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等 ・2等</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等 ・2等</td><td></td></tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</p> <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種名</th><th>化粧薄板の厚さ (mm)</th><th>見付け材面</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>間伐材等の適用</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等 ・2等</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等 ・2等</td><td></td></tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th><th>間伐材等の適用</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下</td><td></td></tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄板の厚さ (mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th><th>間伐材等の適用</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下</td><td></td></tr> </table>	施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※1等	※10%以下 ・A種・B種					※1等	※10%以下 ・A種・B種			施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用			( ) 造作材の場合 (※A種・B種)	※A種・B種	・適用する ・適用しない				造作材の場合 (※A種・B種)	※A種・B種	・適用する ・適用しない		施工箇所	品名	樹種名	材面の品質	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用						※1等 ・2等							※1等 ・2等		施工箇所	品名	樹種名	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用							※1等 ・2等								※1等 ・2等		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用					※15%以下						※15%以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用						※15%以下							※15%以下		<p>4 造作用単板積層材 ㊦ (12.2.1)</p> <p>・JAS 0701に基づく造作用単板積層材</p> <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>品名</th><th>寸法 (mm)</th><th>表面の品質 (化粧加工の有無)</th><th>防虫処理の適用</th><th>間伐材等の適用</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工)</td><td>・する ・しない</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>・無し (等級 ・1等 ・2等 ・3等)</td><td>・しない</td><td></td></tr> </table> <p>・JAS</p>	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質 (化粧加工の有無)	防虫処理の適用	間伐材等の適用				・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工)	・する ・しない					・無し (等級 ・1等 ・2等 ・3等)	・しない	
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																																																																																																																				
・E-1		・E-2																																																																																																																																																																																																					
種別	施工箇所	断熱材 ㊦	防湿用シート	仕上塗料																																																																																																																																																																																																			
・A-S-T1 ・A-S-T2 ・A-S-T3 ・A-S-T4 ・A-S-J1				種類 ※改質777材シートの製造所の仕様																																																																																																																																																																																																			
・A-S-T1	(材質) ※標準仕様書9.3.2(3) (9)による	・設ける (改質777材シートの製造所の仕様による)		使用量 ※改質777材シートの製造所の仕様																																																																																																																																																																																																			
・A-S-J1	(厚さ) ・25mm ・50mm	・設けない																																																																																																																																																																																																					
種別	施工箇所	仕上塗料	保護層																																																																																																																																																																																																				
・X-1		種類・使用量 ※主材料の製造所の仕様																																																																																																																																																																																																					
・X-2		種類・使用量 ※主材料の製造所の仕様																																																																																																																																																																																																					
・Y-1	※地下外壁防水																																																																																																																																																																																																						
・Y-2	※屋内防水		・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																		
		※1等	※10%以下 ・A種・B種																																																																																																																																																																																																				
		※1等	※10%以下 ・A種・B種																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																		
		( ) 造作材の場合 (※A種・B種)	※A種・B種	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																			
		造作材の場合 (※A種・B種)	※A種・B種	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	品名	樹種名	材面の品質	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																	
					※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																		
					※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	樹種名	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																
						※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																	
						※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																		
				※15%以下																																																																																																																																																																																																			
				※15%以下																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																	
					※15%以下																																																																																																																																																																																																		
					※15%以下																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質 (化粧加工の有無)	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																		
			・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工)	・する ・しない																																																																																																																																																																																																			
			・無し (等級 ・1等 ・2等 ・3等)	・しない																																																																																																																																																																																																			

[illegible]

14 自閉式上吊り引戸装置

性能 ※標準仕様書表16.10.1による  
・手動開き力( ) ・手動閉じ力( )  
・閉じ速度の調整( ) ・制動区間( )  
・開閉繰返し( ) ・耐衝撃性( )

15 重量シャッター

シャッターの種類  
・管理用シャッター  
・外壁用防火シャッター  
・屋内用防火シャッター  
・防煙シャッター  
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度( )pa  
開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式  
安全装置  
急降下制動装置、急降下停止装置、障害物感知装置  
(設置箇所・建具表による)  
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構  
(設置箇所・建具表による)  
管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない  
スラット及びシャッターケース用銅板  
銅板の種類  
・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯)  
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯)  
めっきの付着量 ※Z12又はF12  
ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いる  
スイッチボックス類のふたの材質  
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1

⑩ 軽量シャッター

開閉形式の種類 ※手動式 ○電動式(手動併用)  
耐風圧強度( )pa  
安全装置  
電動シャッターの障害物感知装置  
(設置箇所・建具表による)  
スラットの材質の種類  
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯)  
めっき付着量(※Z06又はF06)  
・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき銅板及び銅帯)  
めっき付着量(※AZ90)  
スラットの形状 ・インテンロッキング形 ・オーバーラッピング形

17 オーバーヘッドドア

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ	・125(1250Pa) ・100(1000Pa) ・75(750Pa) ・50(500Pa)	※バンス式 ・ローヘッド形 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パナチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

  
電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置(設置箇所・建具表による)

18 ガラス

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さの組み合わせは建具表及び図面による。  
フロント板ガラスの品種、厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・図示  
型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・図示  
網入り板ガラス、線入り板ガラスの網、線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・図示  
  
・合わせガラス  
材料板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びに合わせガラスの合計厚さ、特性による種類 ※建具表による ・図示  
形状 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス  
落球衝撃は耐熱特性及びショットバック衝撃特性  
・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類  
  
・強化ガラス  
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称、特性による種類  
※建具表による ・図示  
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類  
  
・熱線吸収板ガラス  
板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類  
※建具表による ・図示  
性能 ・1種 ・2種  
  
・複層ガラス  
材料板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びに複層ガラスの厚さ  
※建具表による ・図示  
断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6  
日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・G ・S  
乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン  
  
・熱線反射ガラス  
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による ・図示  
日射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種  
耐久性による区分(日射熱遮へい性が2種の場合) ・A類 ・B類  
  
・倍強度ガラス  
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による ・図示

19 ガラスブロック積み

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル	・図示による ※建具の製造所の仕様による
銅製及び銅製軽量	・シーリング材	・図示による ※建具の製造所の仕様による
ステンレス製	・シーリング材	・図示による ※建具の製造所の仕様による
樹脂製	・グレイジングチャンネル	・図示による ※建具の製造所の仕様による

  
(16.14.5)  

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・160×160	・95				
・200×200	・95				

  
壁用金属枠及び補強材 ・図示による  
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)  
寸法 ※径5.5mm  
形状 ※はしご形状補筋及び単筋  
化粧目地モルタルの色(・白 ・グレー)  
シーリングの種類(・SR-1 ・PS-1)  
金属製化粧カバー 材質 ※ステンレス製 ・アルミニウム製  
寸法 ※図示  
形状 ※図示  
  
木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 ・図示による  
目地部の横力骨の納まり  
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示  
工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法

17 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等

取付け形態による分類  
・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スパンデル方式 (17.1.3)  

水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性(℃)
				・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60

  
耐風圧性  
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法  
主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)  
支点間距離(h) 耐風圧性能  

4m以下	・たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること
4mを超える	・

  
性能の確認方法及び判定方法  
※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける  
  
金属系材料の種類 (17.2.2、3、5、6)  
・アルミニウム材 ・鋼材 ・ステンレス鋼材  
シーリング材の種類(目地等)  
種類及び寸法等 ※図示による  
ガラスの取付け材料  
・シーリング 種類(・SR-2 ・SR-1)  
・構造ガスケット 形状、寸法等 ・図示  
断熱材 種類  
種類及び範囲 ※図示による  
形状及び仕上げ  
製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1による  
見え掛り部の仕上げ  
(アルミニウム材の場合)  
規格等 ※標準仕様書表16.2.3による  
種別  
・標準色 ・特注色  
(鋼材はステンレス鋼材の場合)  
ガラス溝の寸法、形状 ※カーテンウォールの製造所の仕様  
取付け  
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差  
鉛直方向 ※±10mm  
水平方向 ※±25mm  
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差  
目地の幅 ※±3mm  
目地の心の通り ※0~2mm  
目地両側の段差 ※0~2mm  
各階の基準面から各部材までの距離 ※±3mm  
耐火処理 適用部位、材料等 ※図示による  
ガラスの取付け材料  
ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法 ※4辺支持  
  
材料  
コンクリート 種類(・普通コンクリート ・軽量コンクリートⅠ種)  
品質 設計基準強度(Fc) ※30N/mm<sup>2</sup>  
スランプ ※12cm  
気乾単位容積質量  
・普通コンクリートの場合 2.1t/m<sup>3</sup>を超え2.5t/m<sup>3</sup>以下  
・軽量コンクリートの場合 1.8t/m<sup>3</sup>~2.1t/m<sup>3</sup>  
単位水量の最大値 ※185kg/m<sup>3</sup>  
鉄筋 種類記号 ※SD295  
補強鉄線の径(mm) ・3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0  
網目寸法  
シーリング材の種類(目地等)  
種類及び寸法等 ※図示による  
ガラスの取付け材料  
・構造ガスケット 形状、寸法等 ・図示  
耐火処理  
適用部位、材料等 ※図示による  
断熱材 種類  
種類及び範囲 ※図示による  
先付けの材料  
・表面仕上げ材  
・セラミックタイル  
・石材(・花こう岩 ・大理石)  
・建具枠  
・ゴンドラ用ガイドレール  
  
形状及び仕上げ  
製品に見え掛り部の寸法許容差  
辺長 ※±3mm  
対角線長の差 ※0~5mm  
版厚 ※±2mm  
開口部内法寸法 ※±2mm  
先付け金物の位置 ※0~5mm  
PCカーテンウォールの仕上げ  
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差  
※図示による  
製作  
PC版の配筋 ※図示による  
取付け  
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差  
鉛直方向 ※±10mm  
水平方向 ※±25mm  
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差  
目地の幅 ※±5mm  
目地の心の通り ※0~3mm  
目地両側の段差 ※0~4mm  
各階の基準面から各部材までの距離 ※±5mm  
ガラスの取付け方法  
・ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

2 メタルカーテンウォール

3 PCカーテンウォール

3 鎖止め塗料塗り

(18.3.2、3)  

下地面	塗料の種類	鎖止め塗料の種類	鎖止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り:A種
	DP	C種及びD種	見え隠れ:B種
	EP-G	・A種 ※B種	見え掛り:A種 見え隠れ:B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種 ・B種	鋼製建具等:A種 上記以外:B種
	DP	B種	表18.3.6
	EP-G	C種	鋼製建具等:C種 上記以外:B種

  
(18.4.1~18.12.2)  

塗装	種別	塗料の種類
・合成樹脂塗合ペイント塗り(SOP)	木部屋外 木部屋内 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	※A種 ・B種 ・A種 ※B種 ・A種 ※B種 —
・クリヤラッカー塗り(GL)	—	・A種 ※B種 —
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	—	・A種 ※B種 —
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 コンクリート面及び押出成形モルタル板面	— — ・A種 ・B種 ・C種 —
・つや有合成樹脂エポキシ樹脂ペイント塗り(EP-G)	コンクリート面、モルタル面、せっこうフロー面、せっこうボード面、その他ボード面等 屋内の木部、鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	・A種 ※B種 — ・A種 ※B種 — —
・合成樹脂エマルジョンペンベント塗り(EP)	—	・A種 ※B種 —
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)	—	・A種 ※B種 —
・ステイン塗り	—	・ビゲマトシヤ塗り(OS) —
・木材保護塗料塗り(WP)	—	・A種 ※B種 —

  
屋上、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗装 ☑ とする。  
クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用  
・適用しない ・適用する(着色剤:・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤)  
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用  
・適用する ・適用しない  
オイルステイン塗りの工程等 ※製造所の仕様による

19 内装工事

1 接着剤

(19.2.2)  
ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤の耐478℃の放散量 ※F☆☆☆☆  
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類  
・図示  
標準仕様書19.2.3(1)~(3)以外の下地の工法 ・図示  

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ビニル床シート)	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0	

  
接合部の処理 ※熱溶接工法  
  
(19.2.2)  

種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	備考
※KT(30kg/㎡ジョイントビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500	※2.0 ・2.5 ・3.0	
※TT(単層ビニル床タイル)				
※FT(複層ビニル床タイル)				
※FOA(畳敷きビニル床タイル)				
※FOB(薄型畳敷きビニル床タイル)				

  
接合部の処理 ※熱溶接工法  
  
(19.2.2)  

シート種別	厚さ、寸法、形状	性能	種類
・帯電防止床シート	(mm)		
・帯電防止床タイル	×	(mm)	
・視覚障害者用床タイル	(mm)	視覚障害者誘導ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による	
・耐動荷重性床シート	(mm)		
・防滑性床シート	(mm)		
・防滑性床タイル	×	(mm)	

  
6 ビニル幅木  
材質 ・軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ(端部の処理は図示)  
高さ(mm) ※60 ・75 ・100  
厚さ(mm) ※1.5以上  
  
7 ゴム床タイル  
色柄 ( )  
厚さ(mm) ( )  
寸法(mm) ( )  
  
8 カーペット敷き ☑  
(19.3.2、3)(表19.3.1)  

織り方	バイル形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル

  
色柄、※模様のない無地バイル糸の種類等 ※無地の織りじゅうたんの種別(・A種 ・B種 ・C種)  
帯電性 適用する ・適用しない  
織りじゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い  
下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm  
  
・タフテッドカーペット  

バイル形状	バイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットバイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する( )	
・ループバイル	・4~6	・グリッパー工法	・適用しない	
・カット、ループ併用	・	・	・	

  
下敷き材(グリッパー工法の場合)  
※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm  
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

11 敷敷き

(19.6.2)(表19.6.1)  
種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床:・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)  
下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組  
・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロム ☑)  
  
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が少ない材料を使用したものとする。  
衝撃緩和と型盤(畳表:・C1 ・C2)  
  
MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆  
合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書 19.7.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか  
  
木質系セメント板  

種類	厚さ(mm)	規格等
・硬質木毛セメント板 ☑	・15 ・20 ・25	
・中質木毛セメント板 ☑	・15 ・20 ・25	
・普通木毛セメント板 ☑	・15 ・20 ・25	

  
  
繊維強化セメント板  
・けい酸カルシウム板 普通ボード0.8FK タイ2(無石綿) ・6 ・8  
・化粧けい酸カルシウム板 普通ボード0.8FK タイ2(無石綿) ・6 ・8  
表面への化粧張り等の加工 ・7718樹脂系焼付  
  
火山性ガラス質複層板  
・火山性ガラス質複層板 ・図示による  
  
繊維板  
ハードボード(素地)  
スタンダードボード(無処理)  
・素地ハードボード(・未研磨板(RN)・研磨板(RS))  
・内装用化粧ハードボード(DE)  
厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7  
テンパーボード(処理)  
・素地ハードボード(・未研磨板(RN)・研磨板(RS))  
・外装用化粧ハードボード(DE)  
厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7  
・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF) ☑  
・インシュレーションボード ☑  
A級(・天井仕上 ・内装仕上 )  
・9 ・12 ・15 ・18  
  
パーティクルボード  
・単板張りパーティクルボード ☑  
・無研磨板 VN ・研磨板 VS  
・10 ・12 ・15 ・18  
・化粧パーティクルボード ☑  
・単板オールベール DV ・グラマコオールベール DO  
・塗装 DC  
・10(難燃) ・12(難燃)

12 セッコウボード、その他のボード及び合板張り

12.6.1による床組  
・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロム ☑)  
  
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が少ない材料を使用したものとする。  
衝撃緩和と型盤(畳表:・C1 ・C2)  
  
MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆  
合板のホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書 19.7.2(2)(イ)の(a)~(d)のいずれか  
  
木質系セメント板  

種類	厚さ(mm)	規格等
・硬質木毛セメント板 ☑	・15 ・20 ・25	
・中質木毛セメント板 ☑	・15 ・20 ・25	
・普通木毛セメント板 ☑	・15 ・20 ・25	

  
  
繊維強化セメント板  
・けい酸カルシウム板 普通ボード0.8FK タイ2(無石綿) ・6 ・8  
・化粧けい酸カルシウム板 普通ボード0.8FK タイ2(無石綿) ・6 ・8  
表面への化粧張り等の加工 ・7718樹脂系焼付  
  
火山性ガラス質複層板  
・火山性ガラス質複層板 ・図示による  
  
繊維板  
ハードボード(素地)  
スタンダードボード(無処理)  
・素地ハードボード(・未研磨板(RN)・研磨板(RS))  
・内装用化粧ハードボード(DE)  
厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7  
テンパーボード(処理)  
・素地ハードボード(・未研磨板(RN)・研磨板(RS))  
・外装用化粧ハードボード(DE)  
厚さ ・2.5 ・3.5 ・5 ・7  
・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF) ☑  
・インシュレーションボード ☑  
A級(・天井仕上 ・内装仕上 )  
・9 ・12 ・15 ・18  
  
パーティクルボード  
・単板張りパーティクルボード ☑  
・無研磨板 VN ・研磨板 VS  
・10 ・12 ・15 ・18  
・化粧パーティクルボード ☑  
・単板オールベール DV ・グラマコオールベール DO  
・塗装 DC  
・10(難燃) ・12(難燃)

18 塗装工事

1 材料

(18.1.3)  
屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆  
  
・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする  
・仕上表による  
  
(18.2.2~7)  

下地面等	種別
木部	不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗りの場合 ・A種 ※B種
鉄鋼面(DP以外)	・A種 ・B種 ※C種
鉄鋼面(DPのみ)	・A種 ※B種 ・C種
亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面	・A種 ※B種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面	・A種 ※B種
押出成形セメント板面	・A種 ※B種
コンクリート面(DPのみ)	※A種 ・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地:縦目処理工法 ※A種 ・B種 目地:縦目処理工法以外 ・A種 ※B種

2 素地ごしらえ

(18.2.2~7)  

下地面等	種別
木部	不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗りの場合 ・A種 ※B種
鉄鋼面(DP以外)	・A種 ・B種 ※C種
鉄鋼面(DPのみ)	・A種 ※B種 ・C種
亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面	・A種 ※B種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面	・A種 ※B種
押出成形セメント板面	・A種 ※B種
コンクリート面(DPのみ)	※A種 ・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地:縦目処理工法 ※A種 ・B種 目地:縦目処理工法以外 ・A種 ※B種

春 日 部 市  
社 会 教 育  
ス ポ ー ツ 推 進 課

2025.12.1

大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)工事  
特記仕様書(その4)

図面No.  
AA-04



[illegible]

工 事 名		大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)工事	
特記仕様書（構造関係）			
I 建物概要			
1. 主要用途 倉 庫			
2. 工事場所 春日部市大沼七丁目地内			
3. 棟名称及び構造・階数等			
2 棟 軽量鉄骨造 1 階建て（地下 階・PH 階）			
建築面積 279.24 m <sup>2</sup>			
延べ面積 279.24 m <sup>2</sup>			
床 面 積 1 階 279.24 m <sup>2</sup>			
階 m <sup>2</sup>			
階 m <sup>2</sup>			
階 m <sup>2</sup>			
階 m <sup>2</sup>			
建物高さ 5.200 m 軒高さ 4.750m			
工事種別 ○新築 ・増築 ・改築 ・移転			
増築計画 ・有り ○無し			
構造種別 地上 軽量鉄骨造 地下 造			
架構型式 X 方向 ラーメン 構造			
Y 方向 ラーメン 構造			
耐震構造方式 ○耐震構造 ・免震構造 ・制振構造			
耐震安全性の分類 ・Ⅰ類(Ⅰ=1.50) ・Ⅱ類(Ⅰ=1.25) ・Ⅲ類(Ⅰ=1.00)			
4. 構造計算条件			
a 耐震設計条件			
地震荷重		建物一次固有周期 ( 0.143 ) 秒	
地震種別		第 ( 二 ) 種地盤	
地域係数		Z=1.00	
計算ルート		X 方向 ※許容応力度計算 (ルート 3 ) ・その他 Y 方向 ※許容応力度計算 (ルート 3 ) ・その他	
設計層間変形角		X 方向 一次設計 二次設計 Y 方向 一次設計 二次設計	
b 耐風設計条件			
基準風速 ( V )		( 34.0 ) m/秒	
地表面粗度区分		Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ	
c 耐積雪設計条件			
建設地の標高		( ) m	
多雪区域の指定		・有り ○無し	
設計垂直積雪量		( 50.0 ) c m	
5. 地盤調査資料			
調査内容		・サウンディング (※標準貫入試験 ) ・土質試験 ・孔内水平載荷試験 ・平板載荷試験	
調査位置 ボーリング柱状図		構造図 ( / 図 ) による	
液状化対策の検討		・有り ・無し	
II 建築工事仕様			
(1) 質問回答書、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「春日部市建築工事特別共通仕様書」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下、「標準仕様書」という。）による。 法令・基準・仕様書等は原則として施工時において最新のものを適用する。 なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。			
(2) 標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。			
(3) 特記仕様書の表記 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 3) 特記事項に記載の「 . . . 」内の表示番号は、春日部市建築工事特別共通仕様書の当該項目、当該図表を示す。 4) 特記事項に記載の「 . . . 」内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。 5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また「( )」内は製品名を示す。 6) 図は「特定調達物品等」を表す。 7) 注は標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。			
春日部市 社会教育 スポーツ推進課			
2025.12.1		大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)工事	
一		特記仕様書（構造関係・その1）	
		SS-01	

④	鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ ・ 図示による ( )	(5.3.4)	
		機械式定着工法 適用場所 ・ 図示による ( )		
		種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 鋼合グラウト固定		
		工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による		
		鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図（配筋標準図）による。これによらない箇所は図示による。		
		最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う） ※図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4(1)表4.1） ・ 図示による ( )		(5.3.5)
		柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・ あり 適用箇所 ( ) 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等） ・ あり 適用箇所 ( ) ・ 最小かぶり厚さに加える厚さ ( )mm		
		※図示による		(5.3.7)
		7 圧接完了後の圧接部の試験 外観試験 ※行う（全ての圧接部） 抜取試験 ※超音波探傷試験（試験方法 標準仕様書5.4.10(イ)(a)による） 引張試験 試験方法 標準仕様書5.4.10(イ)(b)による		(5.4.10)
		⑤	鉄筋のかぶり厚さ及び開隔（溶接金網含む）	適用箇所 ・ 図示による ( ) H12建告第1463号に適合する性能 ・ A級
種類 ・ ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・ 無機グラウト方式 ・ 有機グラウト方式 ・ 端部ねじ加工継手 ・ モルタル充填式継手				
工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ロット ・ 1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする				
試験の箇所数 ・ 1ロットに対して ( ) 箇所				
・ 全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による 不合格となった場合の措置				
9 溶接継手				
適用箇所 ・ 図示による ( ) H12建告第1463号に適合する性能 ・ A級 溶接継手の工法 ・ 図示による ( ) 鉄筋相互のあき ・ 標準仕様書5.3(4)による ・ 評定等の評価内容による ・ 図示による ( ) 施工完了後の溶接部の試験 ・ 外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・ 評定等の評価内容による 試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・ 超音波測定試験 試験対象 ・ 抜取り ロット ・ 1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする				
試験の箇所数 ・ 1ロットに対して ( ) 箇所				
・ 全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による 不合格となった場合の措置				

⑤	鉄筋工事	鉄筋の種類 (5.2.1)			
		種類の記号	呼び径 (mm)	備考	
		○SD295	※ D16以下		
		○SD345	※ D19以上		
		・			
		・			
		形状等 (5.2.2)			
		種類	種類の記号	鉄筋の形状、綱目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位
		・溶接金網		丸鉄線、6.0、100×100	土間
		・鉄筋格子			
鉄筋の継手方法等 (5.3.4)					
部 位 継手方法 呼び径 (mm)					
柱、梁の主筋				・ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 ・重ね継手	※ D19以上
耐力壁の鉄筋				○重ね継手 ・	
基礎、廊下スラブ、土圧壁				○重ね継手 ・ガス圧接	
その他の鉄筋 ( )				・重ね継手 ・	
継手位置 ・ 図示による（構造関係共通図（配筋標準図）5.1、6.1、7.1、7.3、8.1） ・ 基礎梁主筋の継手位置 ・ 図5.2 ・ 図5.3 ・ 図5.4 ・ 図示による ( )					
柱及び梁の重ね継手の長さ ・ 図示による ( ) 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3(1)(イ)） ・ 図示による ( ) 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所にする部分の位置及び施工方法等 ・ 図示による ( )					

⑥

①

コンクリート  
の種類等

種類

※Ⅰ類（JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート）  
Ⅱ類（JIS A 5308 に適合したコンクリート）

普通コンクリート

設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積 質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ	適用箇所
○21	2.3程度	・15又は18	○18 基礎・土間
○18	2.3程度	・8	均しコン
-	-	-	-
-	-	-	-

構造体強度補正值(S)  
※標準仕様書 表6.3.2による  
補正值 S=3 ( 月 日～ 月 日、 月 日～ 月 日)  
S=6 ( 月 日～ 月 日、 月 日～ 月 日)

2 セメント

種類  
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は  
フライアッシュセメントA種  
適用箇所 (※下記以外全て)  
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和  
熱が7日目で 352 J/g以下、かつ28日目で 402 J/g以下のものとする。  
・高炉セメントB種  
適用箇所 (・1FLより下部 (立上り部含む))  
・フライアッシュセメントB種  
適用箇所 (・)

3 骨材

アルカリシリカ反応性による区分  
※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m<sup>3</sup> 以下)

4 混和材料

・混和剤  
混和剤の種類  
※標準仕様書6.3.1(4) (a)による  
・混和材  
混和材の種類  
※標準仕様書6.3.1(4) (b)による

5 打継ぎの位置、  
ひび割れ誘発目地、  
打継ぎ目地

打継ぎの位置  
梁及びスラブ  
※スパンの中央又は端から1/4の付近  
・図示による ( )  
柱及び壁  
※スラブ、壁梁又は基礎の上端  
・図示による ( )  
目地の寸法  
※標準仕様書 9.7.3(1) (7)による  
※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する  
・図示による ( )  
ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法  
・図示による ( )

6 湿潤養生

湿潤養生の期間  
セメントの種類が普通エコセメントの場合 ( ) 日

7 構造体コンクリート  
の仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ  
(6.2.5) (6.8.2)  

種 別	適用箇所
・A種	※図示による ( )
・B種	※図示による ( )
・C種	※図示による ( )

  
コンクリートの仕上りの平たんさ  

種 別	適用箇所
・a種	※図示による ( )
・b種	※図示による ( )
・c種	※図示による ( )

8 打増し厚さ  
(打直し仕上げ部)

打増し厚さ  
・打直し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)  
・20mm  
・打直し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)  
・10mm  
・20mm  
・外装スタイル後張り面の打増し処理  
・20mm  
打増し範囲  
・図示による ( )

9 型枠

せき板の材料及び厚さ  
・合板 (※12mm ( ) )  
コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用  
する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。  
・断熱材を兼用した型枠の使用  
適用箇所 図示による ( )  
・M C R工法用シートの使用  
適用箇所 図示による ( )  
打増し厚さ 20mm  
打増し範囲 図示による ( )  
スリーブの材質・規格等  
・図示による ( )  
存置期間及び取外し  
※標準仕様書6.8.4による  
・普通エコセメントの場合 (※図示による ( ) )

10 軽量コンクリート

適用箇所 図示による ( )  
種類 1種 ・2種  
気乾単位容積質量  
・標準仕様書 表6.10.1による  
スランプ  
※21cm

11 寒中コンクリート

適用期間 ( 月 日～ 月 日)  
構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合  
・図示による ( )、S=( )

12 暑中コンクリート

適用期間 ( 月 日～ 月 日)  
構造体強度補正值(S)  
※6N/mm<sup>2</sup> 図示による ( )、S=( )

13 マスコンクリート

適用箇所 図示による ( )  
セメントの種類  
・普通ポルトランドセメント  
・中熱ポルトランドセメント  
・低熱ポルトランドセメント  
・高炉セメントB種  
・フライアッシュセメントB種  
・シリカセメント  
混和材料の適用  
・あり (・標準仕様書6.13.2(2) (7)による  
・標準仕様書6.13.2(2) (4)による)  
スランプ  
※15cm  
構造体強度補正值(S)  
※標準仕様書表6.13.1による

14 無筋コンクリート

コンクリートの種類  
※普通コンクリート  
セメントの種類  
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は  
フライアッシュセメントA種  
・高炉セメントB種  
・フライアッシュセメントB種  
設計基準強度 ※18 (N/mm<sup>2</sup>)  
スランプ ※15cm又は18cm  
適用箇所  
※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による ( )  
実施要領  
(1)単位水量の測定は、150m<sup>3</sup>に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。  
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4) (c)による。  
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。  
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m<sup>3</sup>  
の範囲にある場合はそのまま施工する。  
2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合は、水量変動  
の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の  
全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m<sup>3</sup>以内であることを確認する。更に、設  
計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。  
3)設計値±20kg/m<sup>3</sup>を超える場合は、生コンを打込みますに持ち帰らせ、水量変動の  
原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の  
全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m<sup>3</sup>以内であることを確認する。更に、設  
計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。  
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。  
(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気  
温、コンクリート温度等)と写真により提出する。  
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、77MHz又は静電  
容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

15 コンクリートの  
単位水量測定

鉄骨製作工場  
(7.1.3)  
建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた  
(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鍛構工業協会)  
の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を  
受けた工場、又は同等以上の能力のある工場  
評価の区分  
※( ) グレード ・指定しない  
・監督員の承認する工場 (標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)

2 施工管理技術者

3 鋼材

配置する  
種類等  
(7.1.3、4)  
(7.2.1)  

種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規 格
		・JIS規格による
		・JIS規格による
		・JIS規格による
		・JIS規格による
		・JIS規格による

  
溶接垂鉛めつき工法の適用箇所  
・  
ボルトの種類  
・トルシア形高力ボルト  
・JIS形高力ボルト  
・溶融垂鉛めつき高力ボルト  
ボルトのねじの呼び 図示による ( )  
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等  
・図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔)  
摩擦面の処理方法等  
(7.4.2) (7.12.5)  
溶融垂鉛めつき以外  
※標準仕様書7.4.2(1)による  
溶融垂鉛めつき面  
・ブラスト処理(表面粗度50μm Rz以上)  
・ブラスト処理以外の特別な処理方法  
図示による ( )  
すべり試験  
・行う (※すべり係数試験 ・すべり耐力試験)  
試験の方法等 図示による ( )

4 高力ボルト

5 普通ボルト

6 アンカーボルト

7 溶接材料

8 ターンバックル

9 床構造用のデッキ  
プレート

鉄骨部材への溶接方法  
・図示による ( )  
耐火認定  
・あり (耐火時間 図示による ( ) )  
頭付きスタッド (JIS B 1198) の種類等  
(7.2.8) (7.7.6)  

呼 び 名	呼び長さ (mm)	適用箇所
・16		
・18		
・22		

  
スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃曲げ試験を行う。  
無収縮モルタルとする場合の材料、調合等  
※標準仕様書7.2.9(2) (7)から(4)による  
鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6 鉄骨精度検査基準に加えて、次による。  
(7.3.3)  
通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法  
※H12建告第1464号第二号イ(2)による  
アンダーカットの寸法  
※H12建告第1464号第二号イ(3)による  
食い違いの仕口等の検査方法及び補強方法  
・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による  
試験の要領  
・図示による ( )  
開先の形状  
・図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準)  
鋼製エンドタブの切除する部分  
(7.6.7)  
切除する場所 図示による ( )  
切除範囲  
・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以上残して直線上  
に切除する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。  
切断面の仕上げ  
・標準仕様書7.6.7(1) (a) (b) ②による  
完全溶込み溶接  
板厚が異なる場合の突合せ継手  
低応力高サイクル疲労を受ける部位  
・図示による ( )  
スカラップの形状  
・図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4(4)改良型スカラップ)  
適用箇所 図示による ( )  
H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等  
(7.6.12)  
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による  
※抜き取り検査②  
・抜き取り検査①  
JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する確認方法等  
JASS 6 10.4 (受入検査) e 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、  
完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同  
とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、  
再試験する。  
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験  
工場溶接の場合  
AQL (%) ※4.0 ・2.5  

部	全	部	部
検査水準	※第6水準		
・全数			
・工事現場溶接の場合			

21 溶融垂鉛めつき  
(基礎、主要構造部及  
びその他構造耐力上  
主要な部分に限る。)

22 梁貫通孔の補強

① 工事用図面

工事用着手時原設計図 縮小製図 (A3版 A3版以上の設計図はA3に縮小)  
※要 ( 2 部 ) ・不要

種類等

垂鉛めつきの種類

材料

適用部位

・A種

最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板

・B種

最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板

・C種

普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類

最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板

外観検査 ※行方 行わない

補強形式  
・図示による (構造関係共通図(鉄骨標準図)1-6)

適用箇所  
※図示による ( )

8 その他

① 工事用図面

工事用着手時原設計図 縮小製図 (A3版 A3版以上の設計図はA3に縮小)  
※要 ( 2 部 ) ・不要

日付

2025.12.1

工事名称

大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)工事

図面No.

SS-02

審 日 部 市

社 会 教 育 部

ス ポ ー ツ 推 進 課

図面名称

特記仕様書 (構造関係・その2)

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要	
1.1 工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯（その2）工事
1.2 工事場所	春日部市大沼七丁目地内
1.3 工期	契約確定日から令和8年8月28日まで
現場施工期間	契約確定日から令和8年7月31日まで
現場施工期間	現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。
1.4 工事科目（○印の付いたものを適用する）	
○ 電灯設備	・ テレビ共同受信設備
・ 動力設備	・ テレビ電波障害防除設備
・ 電熱設備	・ 監視カメラ設備
・ 雷保護設備	・ 駐車場管制設備
・ 受変電設備	・ 防犯、入退室管理設備
・ 電力貯蔵設備	・ 自動火災報知設備
・ 発電設備	・ 自動閉鎖設備
・ 構内情報通信網設備	・ ガス漏れ火災警報設備
・ 構内交換設備	・ 電話配管設備
・ 情報表示設備	・ 中央監視制御設備
・ 映像、音響設備	・ 医療関係設備
・ 拡声設備（非常放送設備）	・ 昇降機設備
・ 誘導支援、呼出し設備	
1.5 指定部分	○ 無 ・ 有（ 工期：令和 年 月 日）
1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）	
1 専任期間の始期	請負契約締結の日から、（○現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間 ・ 令和 年 月 日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
2 専任期間の終期	工事完成后、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
3 専任期間の中断	自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
1.7 建物概要	
2 階 軽量鉄骨造	1階建て 建築面積・延べ面積・床面積 279.24㎡
1.8 工事概要	
1.9 同時期発注の関連工事	・ 建築工事 ・ 機械設備工事
2 工事仕様	
2.1 共通仕様	
（1）この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事情）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事情）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。	なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。	
（3）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。	
2.2 特記仕様（特記事項の選択項目は、○印の付いたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。）	
項 目	特 記 事 項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図面に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
③ 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
④ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくことが ※できる。 ・できない。
⑤ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
⑥ 監督員事務所	本工事で ・ 設ける（規模 ） ※設けない
⑦ 保 険	受注者は工事事務物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
8 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑨ 完成図書の納品	完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 市営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り2部とする。
⑩ 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 （構外搬出処理費は、※本工事 ・ 別途） （1）引渡しを要するもの（ ） （2）買取処分するもの（銅線・鉄屑 ） （3）再生資源化を図るもの（蛍光管 ） 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 （4）特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

⑪ 金属電線管の塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。				
⑫ 鍵	壁等の鍵は、既存壁及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。				
13 地中電線路	（1）管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。 <table><tr><th>敷き均し土</th><th>管 種 別</th></tr><tr><td>良質土</td><td>硬質ビニル電線管（VE） 耐衝撃性塩化ビニル管（HIVE） 波付硬質合成樹脂管（FEP） ポリエチレン被覆鋼管（PLP）</td></tr></table> （2）地中電線路には、ケーブル埋設槽及び保護シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の保護シートは図面特記による。 （3）地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下面）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。  ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。  温気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。  屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじし工法としてもよい。  漏電遮断機で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色・緑又は緑×色帯で区別する。  埋戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ・構外搬出適切処理する。  再生砂などは原則使用しない。ただし、監督員の了解を得た場合に限り、表層以外に使用できる。 再生砂使用に先立ち、1購入あたり1棟体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。  設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 （1）設計用水平地震力 機器の重量[kg]に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。	敷き均し土	管 種 別	良質土	硬質ビニル電線管（VE） 耐衝撃性塩化ビニル管（HIVE） 波付硬質合成樹脂管（FEP） ポリエチレン被覆鋼管（PLP）
敷き均し土	管 種 別				
良質土	硬質ビニル電線管（VE） 耐衝撃性塩化ビニル管（HIVE） 波付硬質合成樹脂管（FEP） ポリエチレン被覆鋼管（PLP）				
⑬ 回路の種別行先の表示					
⑭ 電線の接続					
⑮ 電線管の接続					
⑯ 接地工事					
18 建設発生土の処理					
19 再生砂・再生砕石再生アスコン使用					
20 耐震施工					
21 あと施工アンカー	（備考）（※1）：水槽類には、オイルタンク等を含む。 重要機器 配電盤 発電装置（防災用） 直流電源装置 交流無停電電源装置 交換機 火災報知器受信機 中央監視装置 太陽光発電装置 上層階の定義は次による。 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 （2）設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。  機器・配管等の据付におけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。  既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。  本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。 （1）内部足場 ※ 脚立足場 （2）外部足場 ※ A種（枠組足場）・B種・C種・D種・E種・F種 ※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」（厚生労働省）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。				
22 はつり及びあと施工アンカー打設					
23 改修部分の足場					
24 墜落制止用器具（フルハーネス型）	※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン による ・使用を要しない				

②⑤ 施工計画書	※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承認を受ける ※総合施工計画書（工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む） ※工程別施工計画書 ○電力設備工事 ・ 受変電設備工事 ・ 電力貯蔵設備工事 ・ 発電設備工事 ・ 通信、情報設備工事 ・ 中央監視制御設備工事 ・ 医療関係設備工事 ・ 昇降機設備工事 ※その他監督員が必要と認めるもの
26 アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
②⑦ その他	（1）施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。 （2）本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。 （3）本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。 （4）本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。 （5）特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 （6）改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。 （7）受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。 （8）本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。 （9）特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せて設定すること。 （10）工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3 工事別一般事項（特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する）	
項 目	特 記 事 項
① 電灯設備	（1）配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は連用形とする。なお、2口コンセントは横式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、市営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 （2）照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 （3）照度測定 電灯設備工事に際し、新築工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 （4）分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 （5）縦柵 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は縦柵を使用する。ただし、ボード張りで、ボード表面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、縦柵を必要としない。 （6）位置ボックスの省略 ケーブルころがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。
2 動力設備	（1）動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 （2）電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はLR1とする。
4 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 （端末処理 ・ 耐塩用 ・ 一般用 ） 受 電 電 圧 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 柱上用高圧気中 定格電圧 7.2kV 定格電流 A 負荷開閉器(PAS) 主遮断装置 変圧器設備容量 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 動力用 kVA× 台  電灯用 kVA× 台  高圧進相コンデンサ kVar× 台 直列リアクトル ・ 6％ ・ 13％ kVar × 台
5 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を室内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 電力貯蔵設備	・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 （概要）
7 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱供給(コージェネレーション)発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ （概要）

8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備（非常放送設備）	（1）所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 （2）総合室内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 （3）ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事情）による。 なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

4. 取付高さ			
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。			
名 称	測 点	取付高さ（mm）	
		一 般	市営住宅
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300	1,200
〃（身体障害者用）	〃	1,100	1,000
〃（人感センサー切換用）	〃	2,000	2,000
コネクタ、電話用7φ11φ、直列エント（一般）	〃	300	400
〃（和室）	〃	150	200
〃（台所）	台上～中心	150	500
防水型コンセント	床上～中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉器箱	〃	(上端1,900以下)1,500	(上端1,900以下)1,500
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900	900
復帰ボタン（ 〃 ）	〃	1,800	1,800
廊下表示灯（ 〃 ）	〃	2,000	2,000
端子盤	〃	(上端1,900以下)1,500	2,000

3 その他

3. 1 他工事との取合区分

発注図又は工事区分表による。

3. 2 図面上の縮尺

図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。

3. 3 疑義

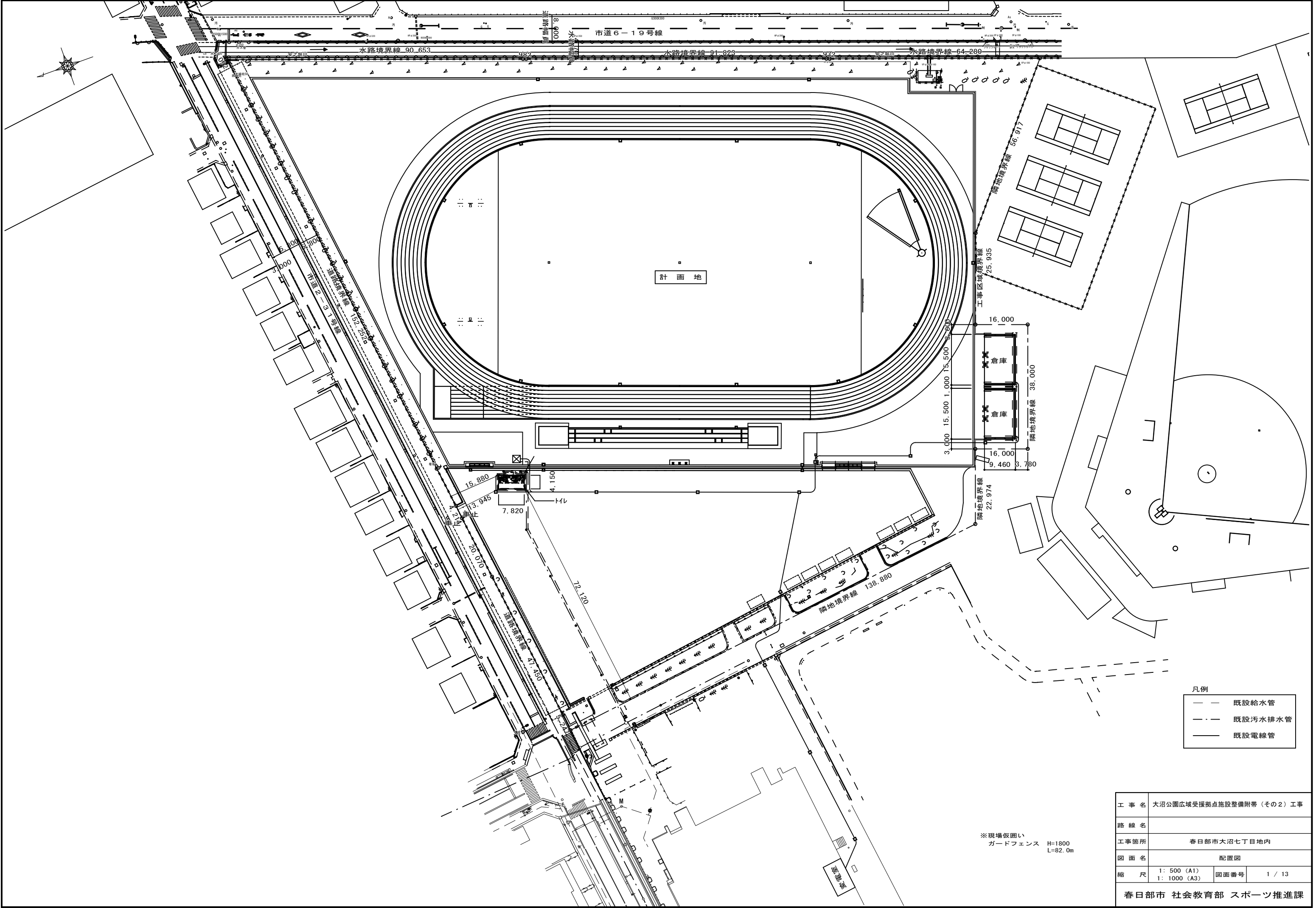
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

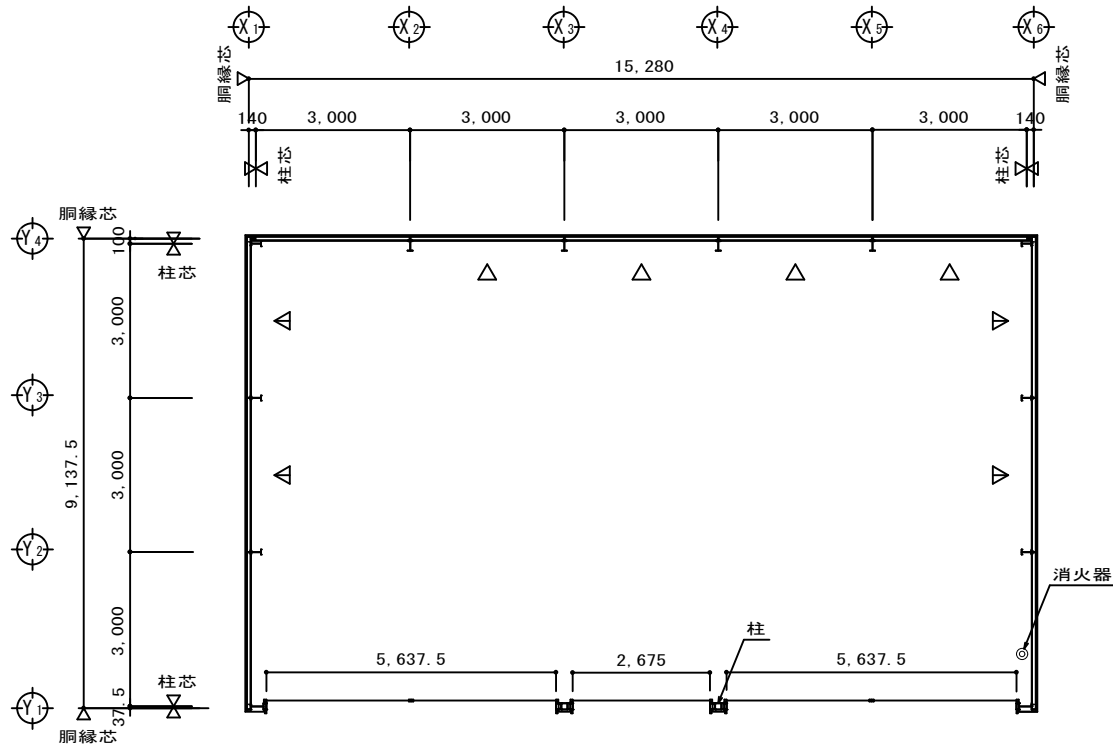
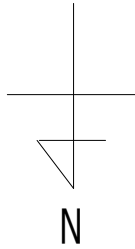
3. 4 工事用図面

工事用着手時原設計図 縮小製図（A3版 A3以上の設計図はA3に縮小）  
※要（ 2 部 ） ・ 不要

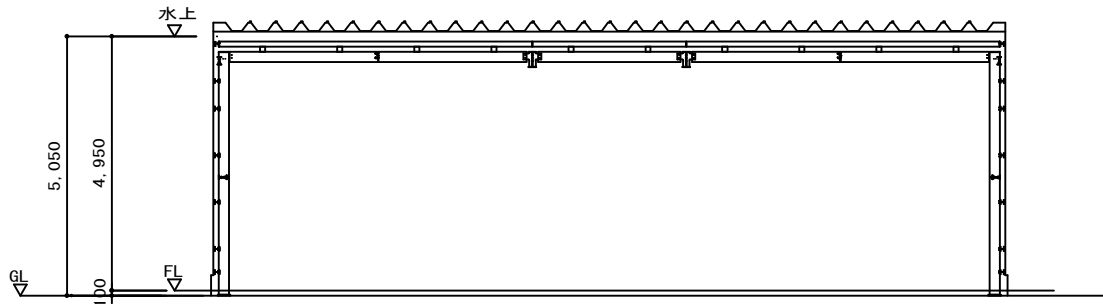
	設計年月日	春日部市 社会教育部 スポーツ推進課	縮 尺	工 事 名 称	図 名	図面番号
	2025.12.1		—	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯（その2）工事	電気設備工事特記仕様書（1）	E－01



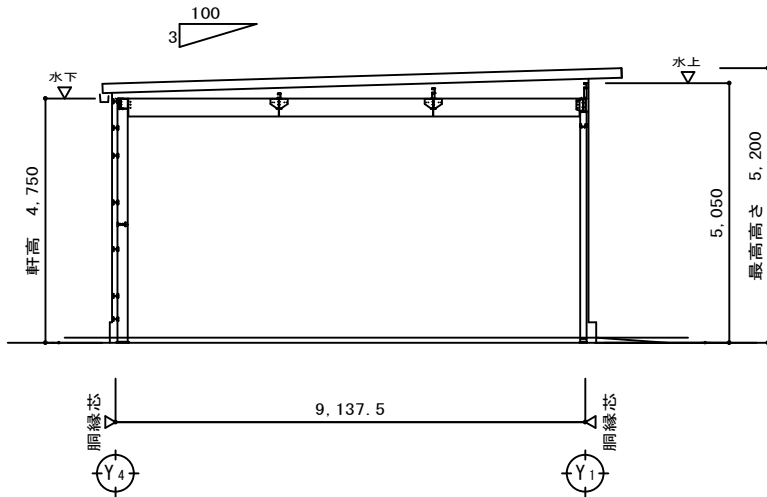




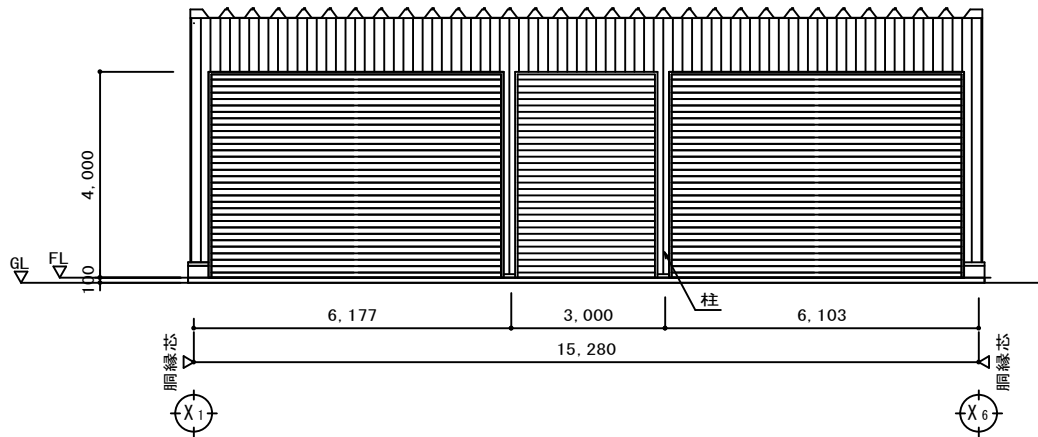
平面図      △△は柱ブレースを示す



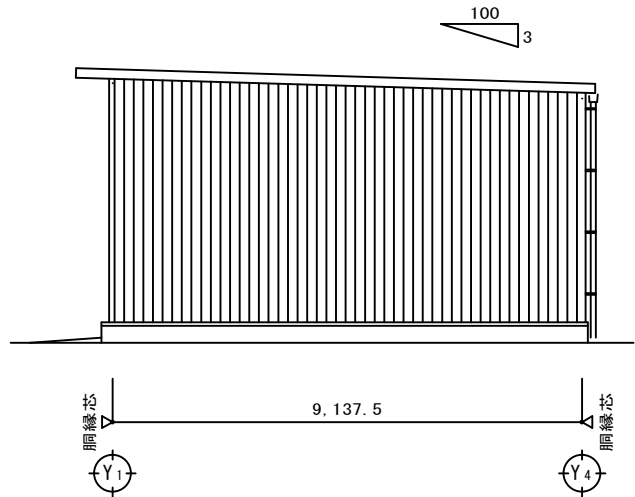
Y通 断面図



X通 断面図



Y1 立面図



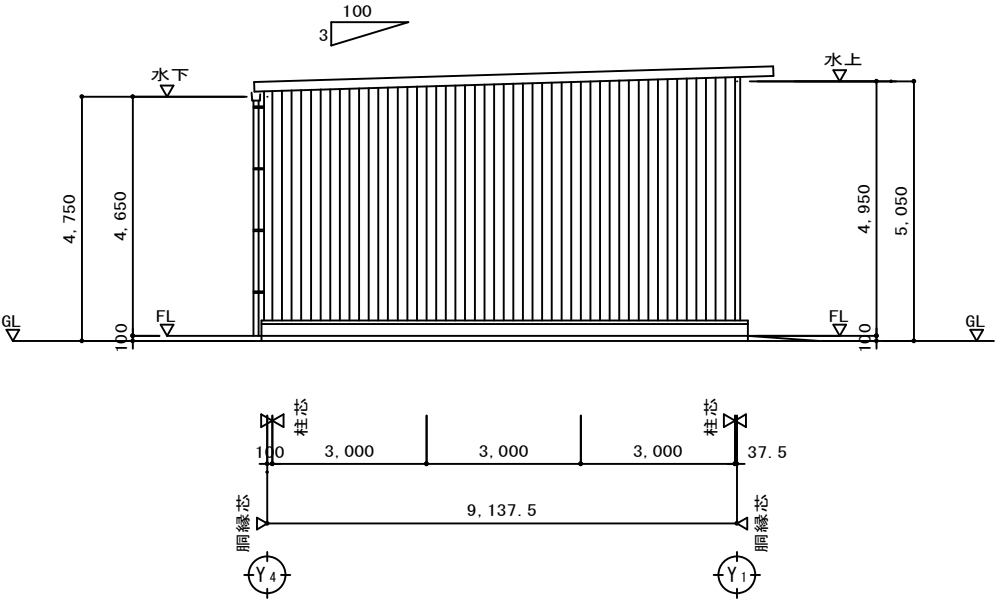
X6 立面図

※軒樋はオプション仕様

仕様書			
積 雪	50cm		
風 速	34m/s		
建築面積	139.62㎡ (42.3坪)	延床面積	139.62㎡
階 数	平屋建て		
構 造	軽量鉄骨ﾌﾟﾚｰｽ構造 (前面ﾌﾚｰﾑはﾗｰﾒﾝ構造)		
屋 根	ﾊﾍﾞﾞ式折板(※不燃材料: NM-8697)		
	屋根材: ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 (素地)	0.6mm	
	断熱材: 硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ	4mm	
	軒先化粧ﾌﾚｰﾑ付		
天 井	屋根折板裏面 (ﾊﾞｯﾌ) 表し		
壁	角波鋼板(※不燃材料: NM-8697)		
	外装材: ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板	0.5mm	
シャッター	電動シャッター		
基 礎	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造布基礎 (前面は独立基礎)		
床	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ仕上げ		
オプション	雨樋		

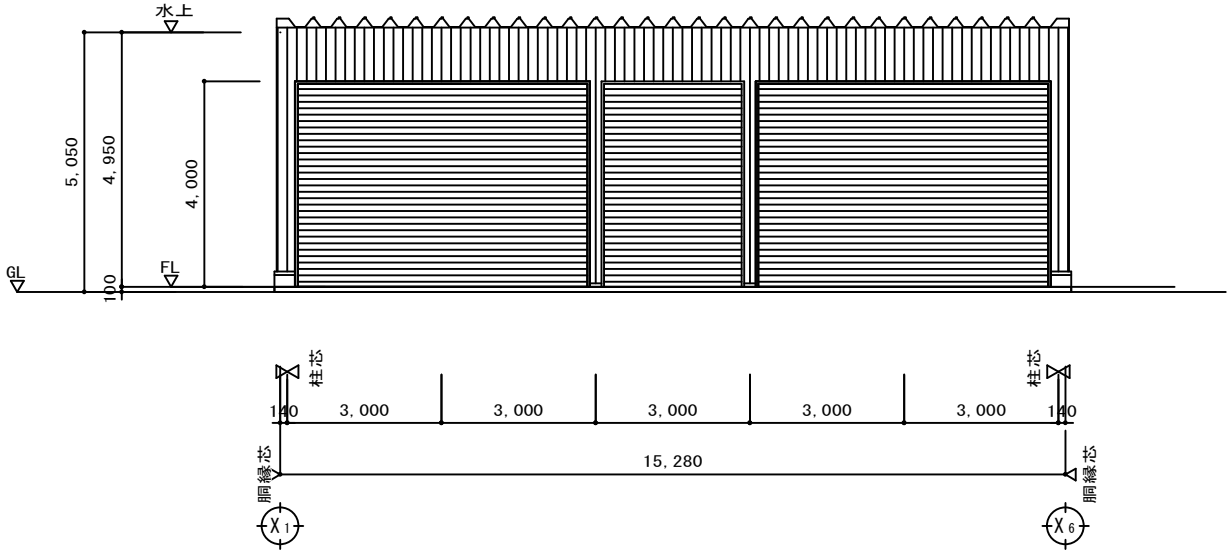
- ・ 建築面積 : 15,280 × 9,137.5 = 139,621㎡
- ・ 延床面積 : 15,280 × 9,137.5 = 139,621㎡

工 事 名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2) 工事		
路 線 名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図 面 名	倉庫平面図・立面図・断面図		
縮 尺	S=1:75 (A1)	図面番号	2/13
	S=1:150 (A3)		
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			

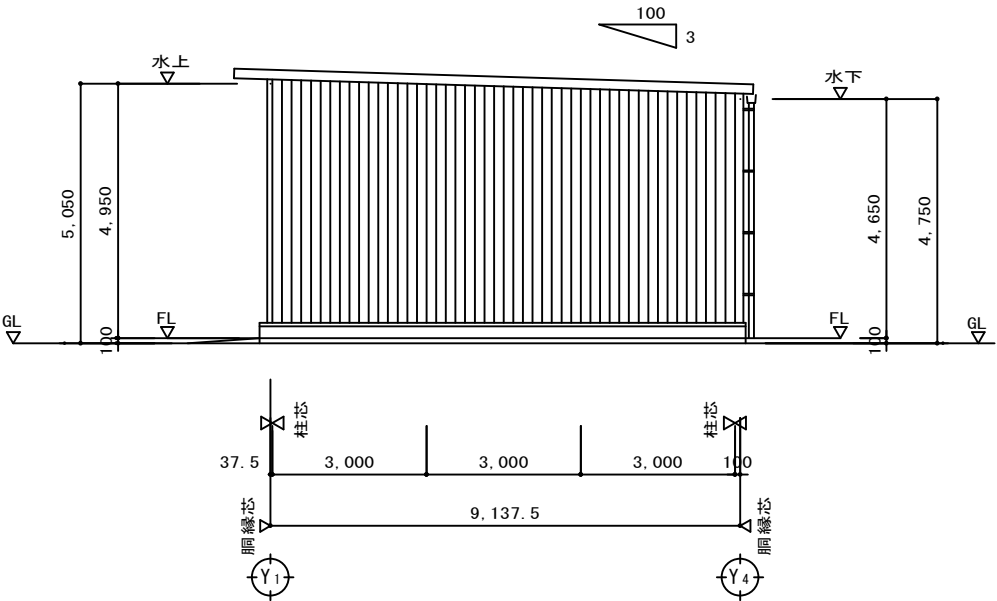


X1 立面図

※軒樋はオプション仕様

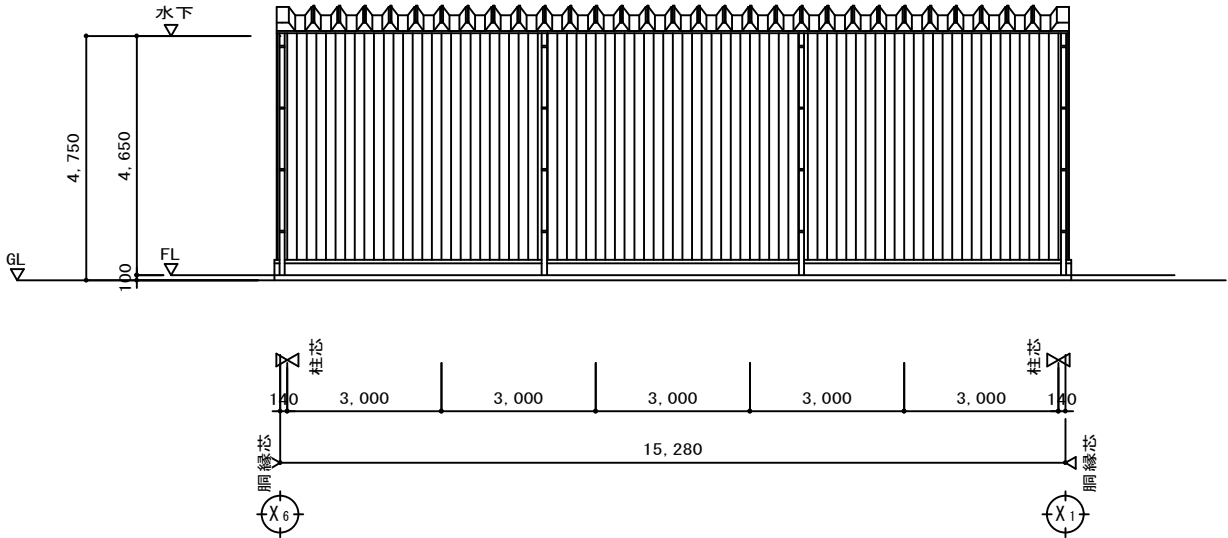


Y1 立面図



X6 立面図

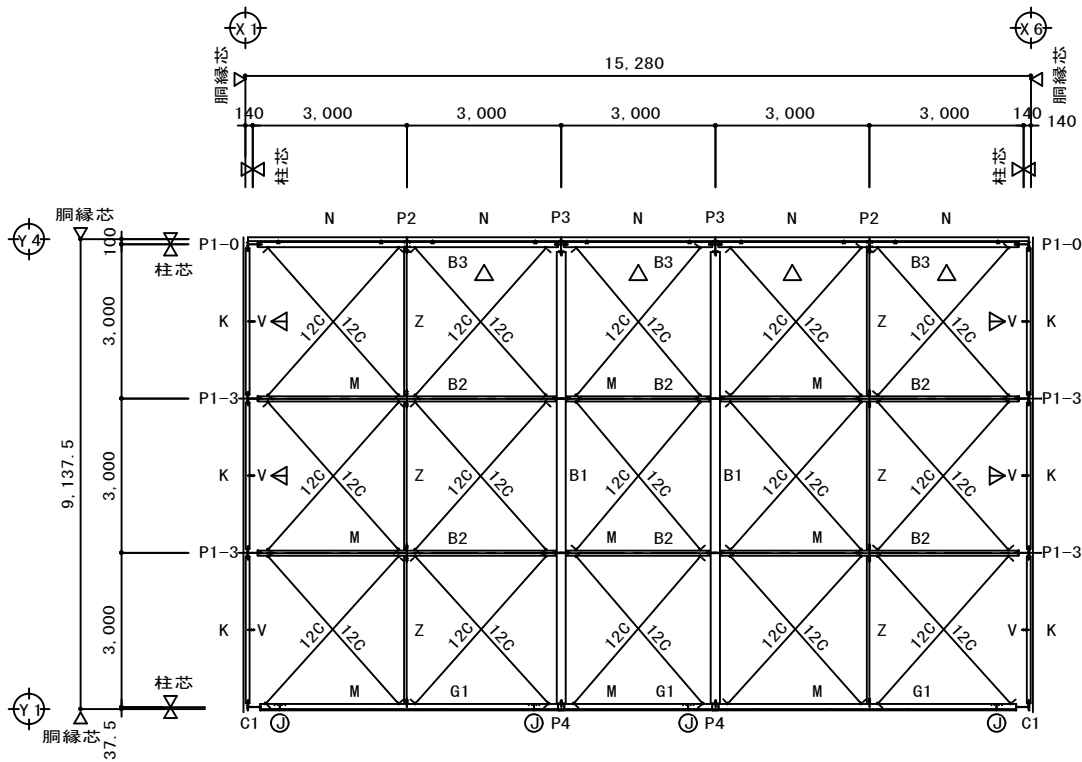
※軒樋はオプション仕様



Y4 立面図

※軒樋はオプション仕様

工 事 名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)工事		
路 線 名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図 面 名	倉庫立面図		
縮 尺	S=1：75 (A1) S=1：150 (A3)	図面番号	3/13
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			



梁伏図

部 材 リ ス ト						
符 号		部 材	細長比		材 質	継 手
C1	ラーメン柱	LH-250×125×3.2×4.5	λ x=44.5	λ y=83.6	SWH400	BPL-25, A, BOLT 2-M20
P4	サポート柱	□-125×125×4.5	λ x=94.7	λ y=94.7	STKR400	BPL-16, A, BOLT 2-M16
P1-0	水下柱	LH-200×100×3.2×4.5	λ x=55.8	λ y=104.3	SWH400	BPL-19, A, BOLT 2-M16
P1-3	妻柱	LH-200×100×3.2×4.5	λ x=55.8	λ y=104.3	SWH400	BPL-19, A, BOLT 2-M16
P2	水下間柱	LH-200×100×3.2×4.5	λ x=104.3	λ y=55.8	SWH400	BPL-19, A, BOLT 2-M16
P3	水下桁柱	LH-200×100×3.2×4.5	λ x=104.3	λ y=55.8	SWH400	BPL-19, A, BOLT 2-M16
G1	ラーメン梁	LH-250×125×3.2×4.5			SWH400	継手リスト参照
B1	小屋梁	LH-350×175×4.5×6			SWH400	GPL-6, 3-M16B, W, SW, N
B2	小屋梁	LH-200×100×3.2×4.5			SWH400	GPL-6, 2-M16B, W, SW, N
B3	水下小屋梁	LH-200×100×3.2×4.5			SWH400	GPL-6, 2-M16B, W, SW, N
V	柱継	LH-150×75×3.2×4.5			SWH400	GPL-6, 2-M16B, W, SW, N
Z	梁継	C-100×50×20×2.3			SSC400	GPL-6, 2-M12B, W, SW, N
M	母屋	C-100×50×20×2.3			SSC400	
SS	シャッター下地	上弦材：C-125×50×20×2.3			SSC400	
		下弦材：2C-125×50×20×2.3			SSC400	
		束 材：2C-125×50×20×2.3			SSC400	
		束 材：C-125×50×20×2.3			SSC400	
N	軒下地	LH-80×80×2.3×2.3			SWH400	2-M12B, W, SW, N
K	ケラバ下地	LH-80×80×2.3×2.3			SWH400	2-M12B, W, SW, N
D	胴縁	LH-80×80×2.3×2.3@910			SWH400	4-M12B（片側2本：両側4本）, W, SW, N
D2C	開口胴縁	C-75×45×15×2.3			SSC400	
D1C	サッシ縦枠下地	C-75×45×15×2.3			SSC400	
D2C	サッシ横枠下地	2C-75×45×15×2.3			SSC400	
水平ブレース		— 1-M12（ターンバックル）			SNR400B	ボルト（強度区分10.9）1-M16 ※
柱ブレース（妻）		△ 1-M16（ターンバックル）			SNR400B	ボルト（強度区分10.9）1-M16 ※
柱ブレース（桁）		△ 1-M12（ターンバックル）			SNR400B	ボルト（強度区分10.9）1-M16 ※

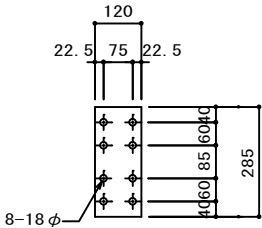
防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。  
錆止めペイントは、JIS K5674、1回塗りを標準とする。  
ブレースは塗装仕上げとする。

※：摩擦面処理なし

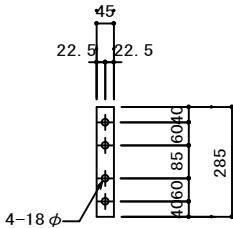
継 手 リ ス ト (S=1：20)

※継手部は摩擦面処理必要

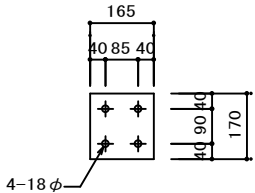
SPL LH250-6x120x285  
ボルト：M16HTB (F10T) (φ18孔)  
t 6 (SS400)



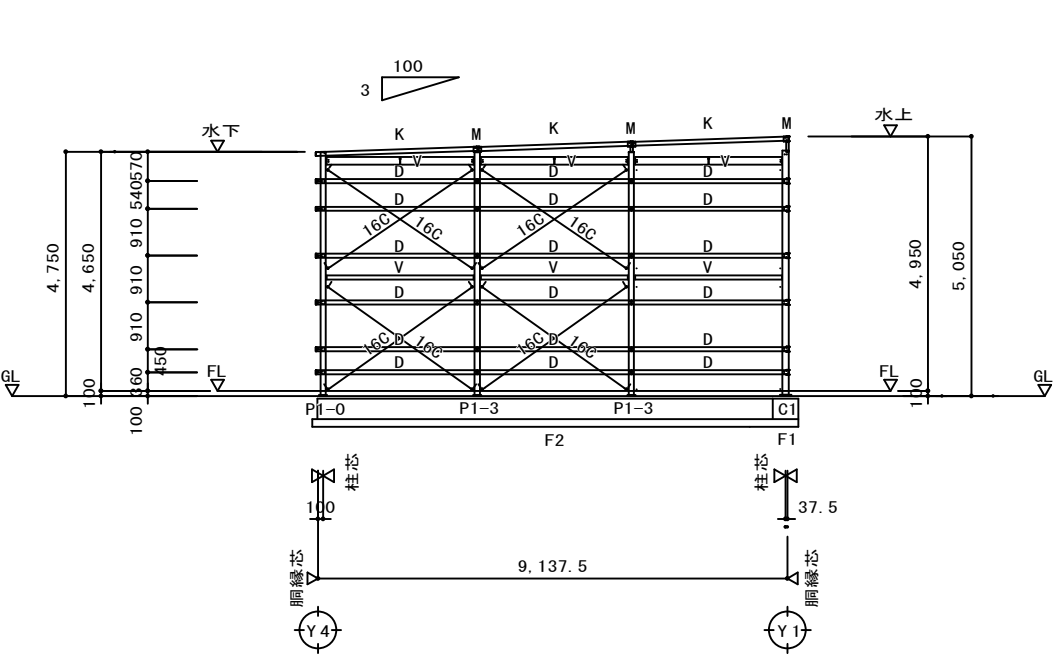
SPL LH250-6x45x285  
ボルト：M16HTB (F10T) (φ18孔)  
t 6 (SS400)



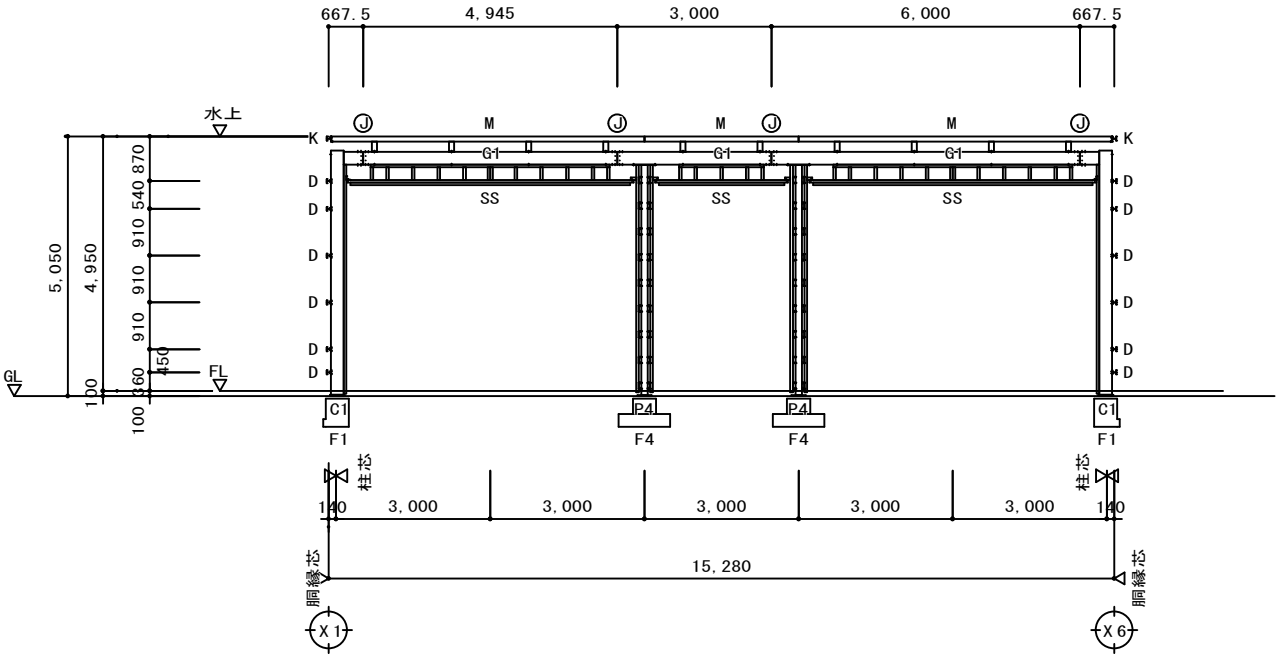
SPL LH250-4.5x170x165  
ボルト：M16HTB (F10T) (φ18孔)  
t 4.5 (SS400)



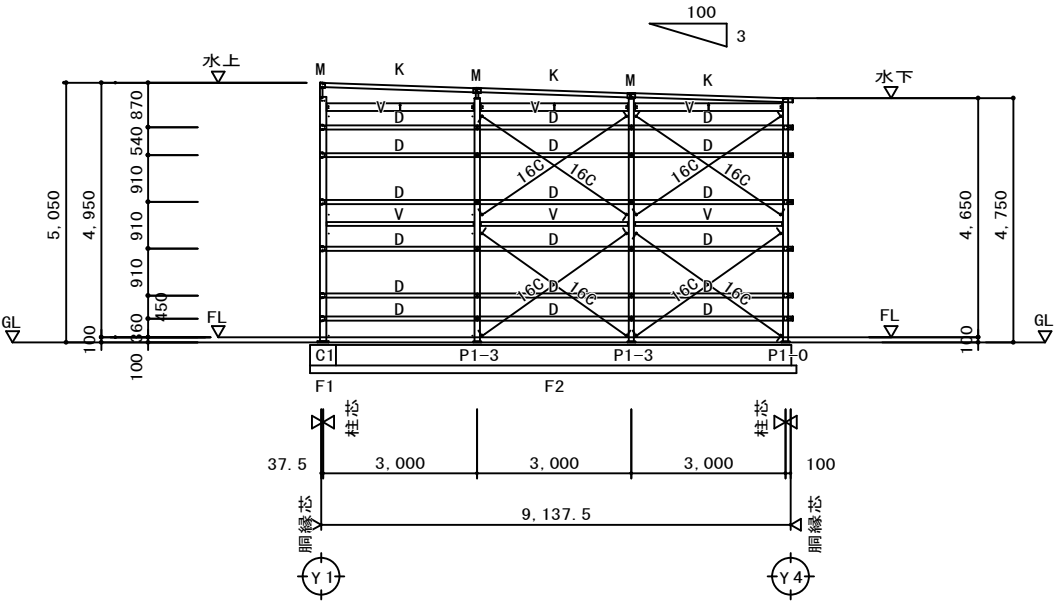




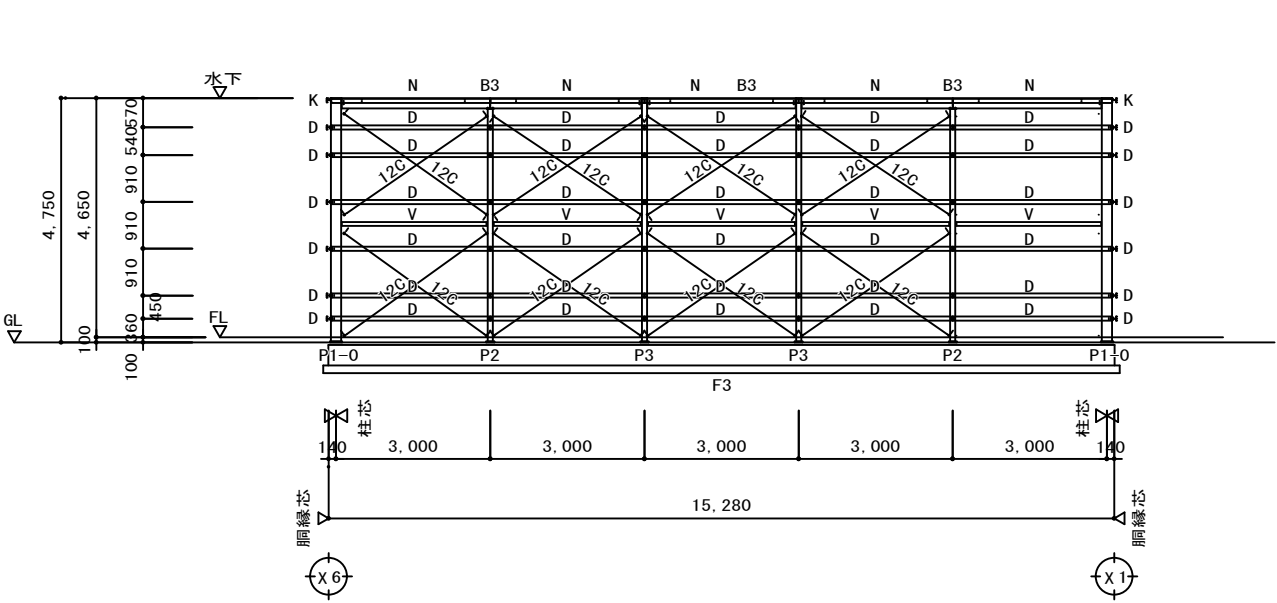
X1 軸組図



Y1 軸組図

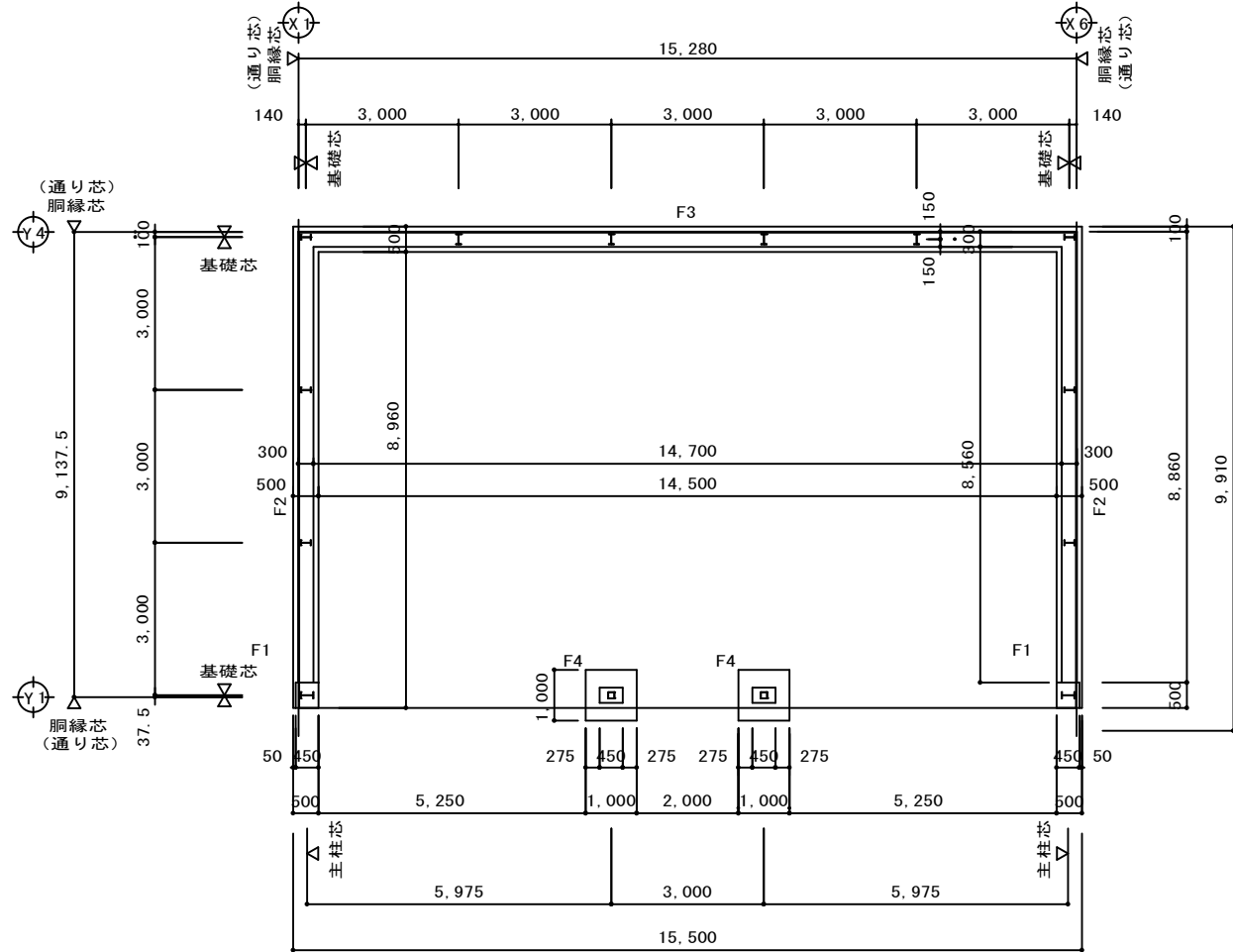


X6 軸組図



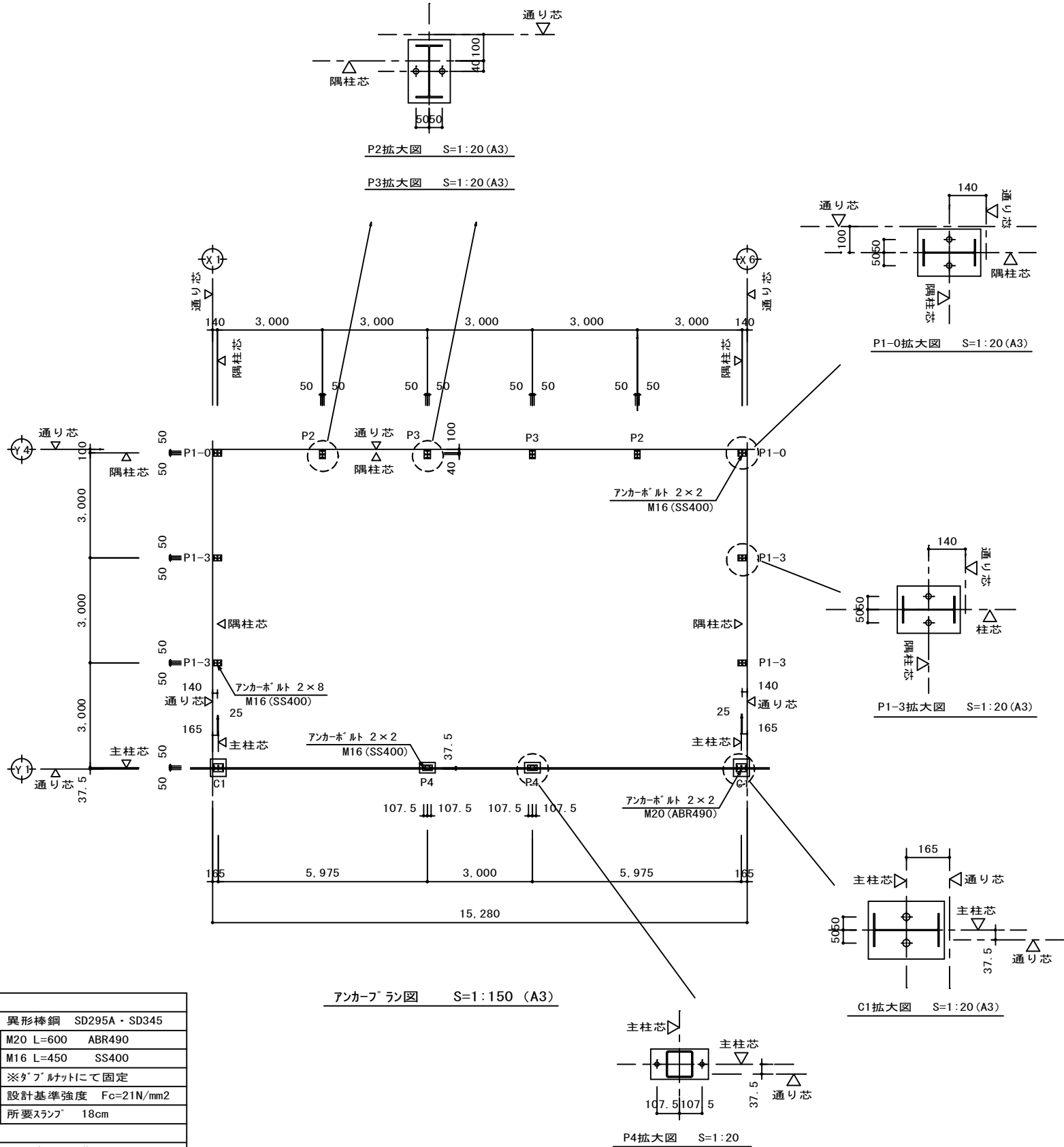
Y4 軸組図

工 事 名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)工事		
路 線 名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図 面 名	倉庫軸組図		
縮 尺	S=1：75 (A1) S=1：150 (A3)	図面番号	5/13
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			



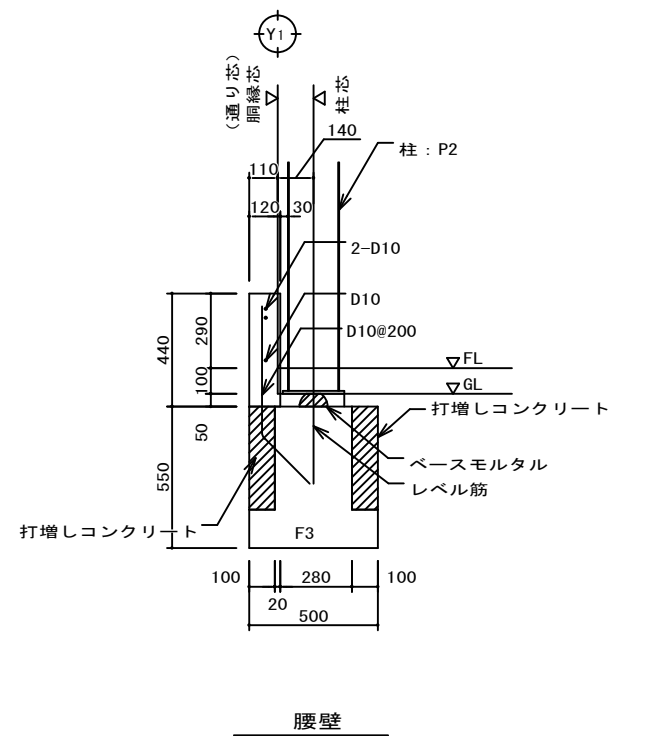
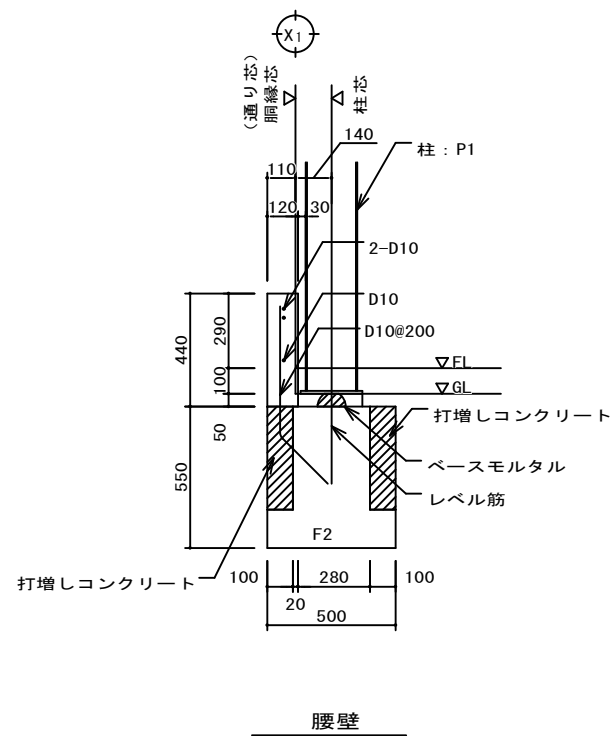
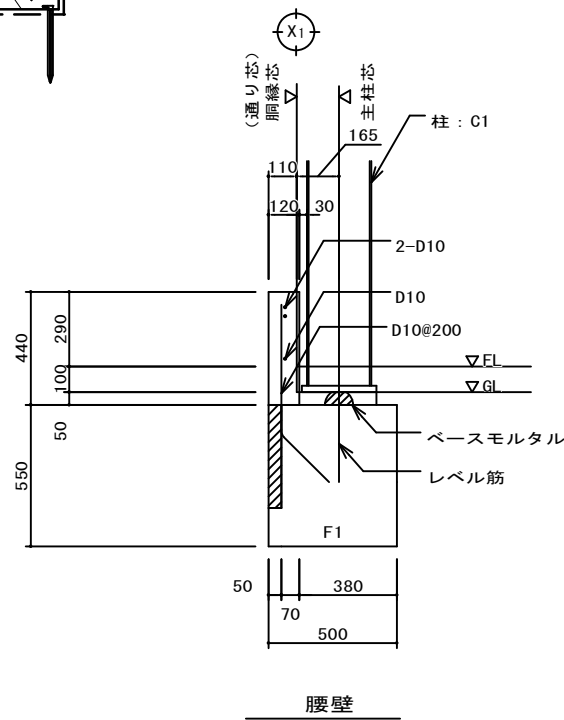
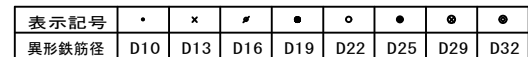
基礎伏図 S=1:150 (A3)

・ 使用部材		
鉄筋	異形棒鋼 SD295A ・ SD345	
アンカーボルト	M20 L=600	ABR490
	M16 L=450	SS400
	※タプルナットにて固定	
基礎コンクリート	設計基準強度 $F_c=21\text{N/mm}^2$	
	所要スラング 18cm	
・ 備考		
設計地耐力	50kN/m <sup>2</sup> （長期）	

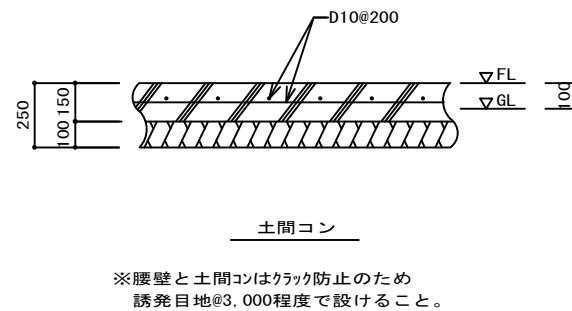
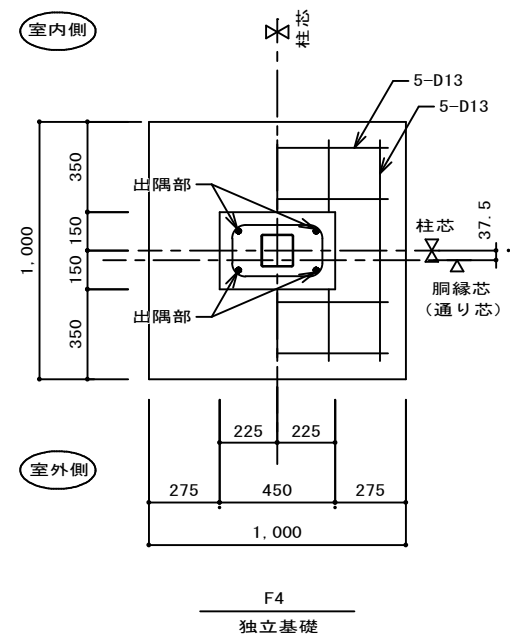


アンカープラン図 S=1:150 (A3)

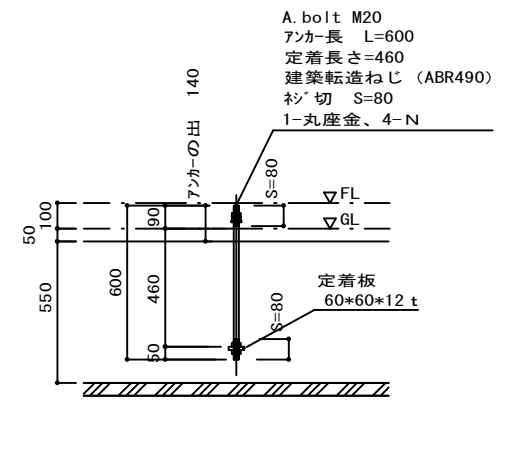
工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	倉庫基礎伏図・アンカープラン図		
縮尺	図示	図面番号	6/13
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			



工 事 名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)工事		
路 線 名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図 面 名	倉庫基礎リスト(1)		
縮 尺	S=1:15 (A1) S=1:30 (A3)	図面番号	7/13
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			

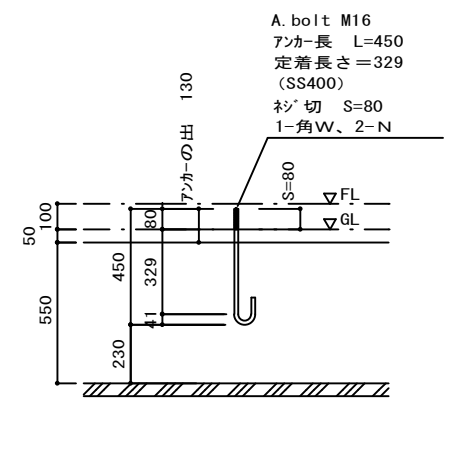


## アンカーホルト詳細

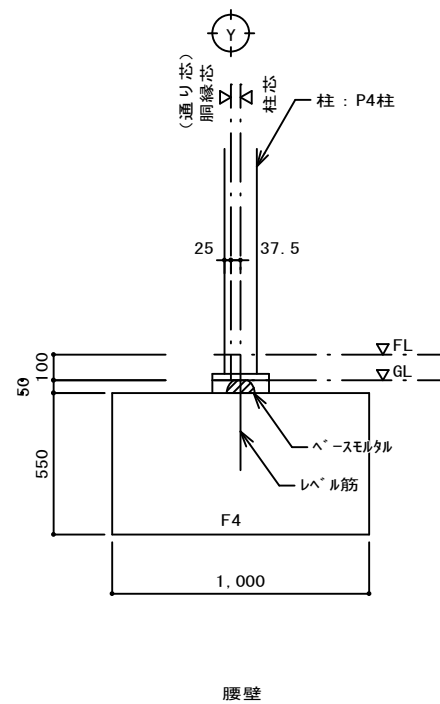
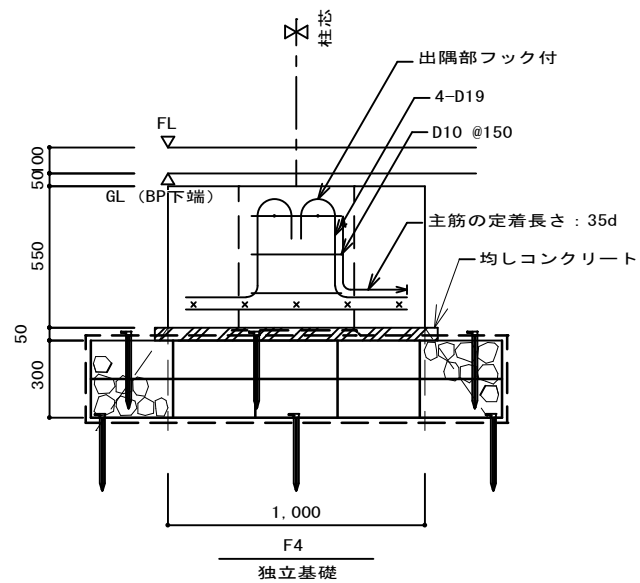
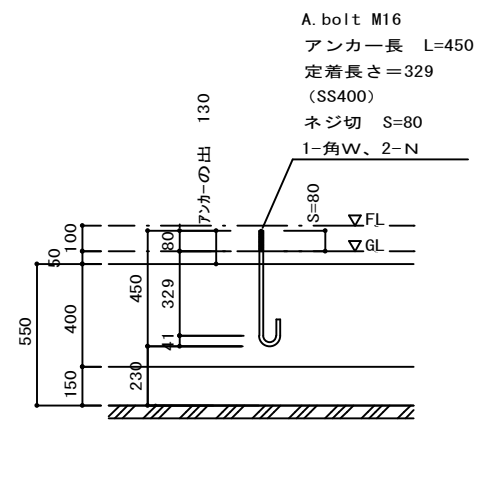


---

F4



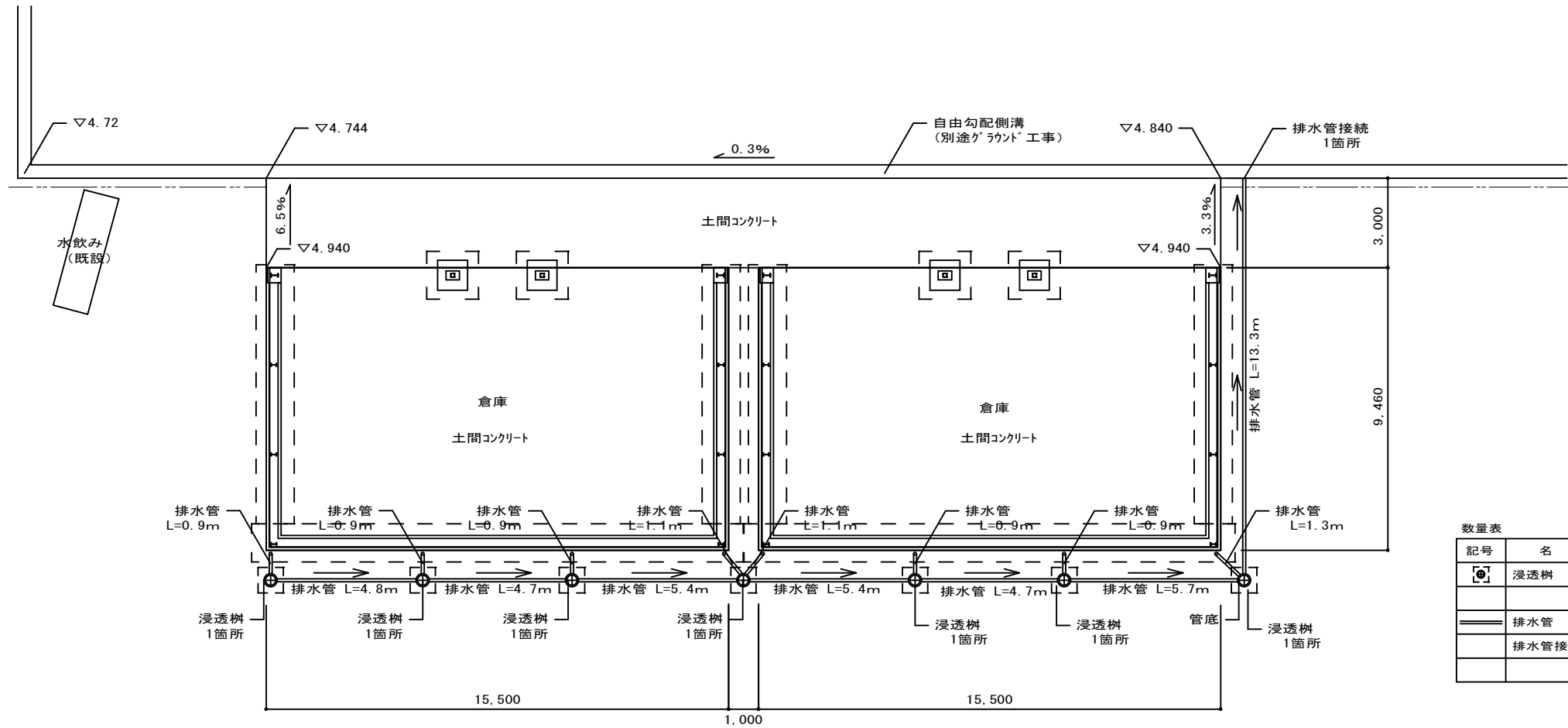
F2、 F3



表示記号	●	×	■	●	○	●	⊗	⊙
異形鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32

工 事 名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)工事		
路 線 名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図 面 名	倉庫基礎リスト(2)		
縮 尺	S=1:15 (A1) S=1:30 (A3)	図面番号	8/13
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			

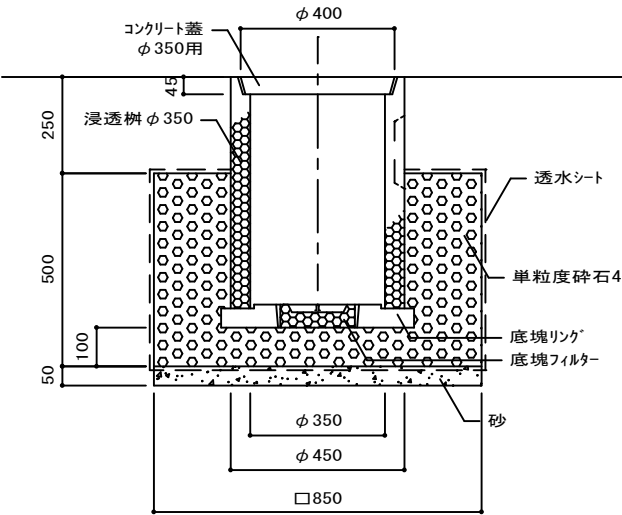




数量表

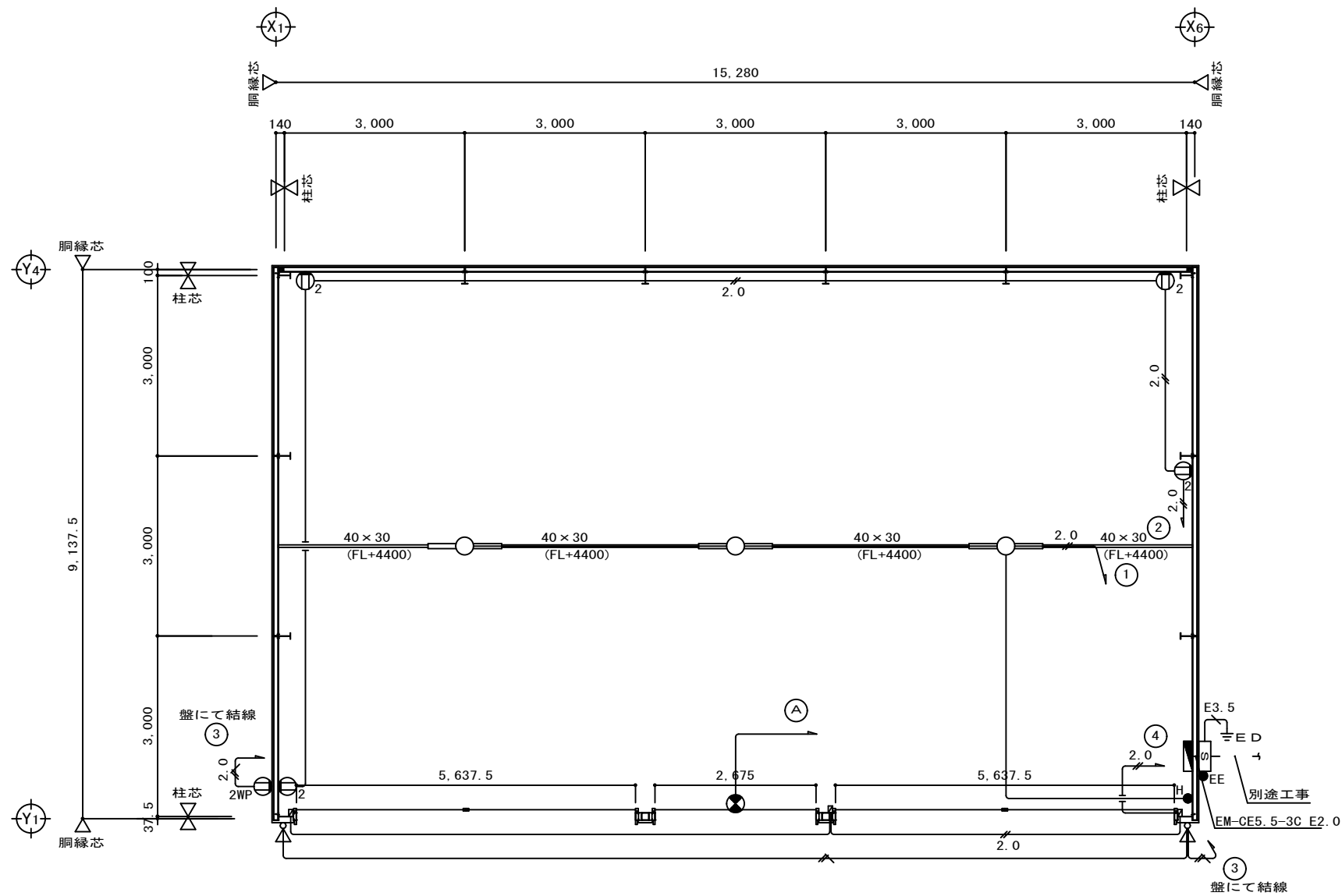
記号	名 称	形状寸法	単位	数量	備 考
⊗	浸透樹	φ 350	箇所	7	
==	排水管	φ 100	m	52.0	IL管8箇所含
	排水管接続		箇所	1	オーバーフロー管 自由勾配側溝に接続

排水平面図 (倉庫) S=1/200 (A3)



浸透樹 S=1/20 (A3)

工 事 名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)工事		
路 線 名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図 面 名	倉庫排水設備図		
縮 尺	S=1：100 (A1) S=1：200 (A3)	図面番号	9/13
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			



(特記事項)		
図中特記なき記号は下記による。		
	EM-EEF1.6-2C	(E19)
	EM-EEF1.6-3C	(E19)
	EM-EEF2.0-2C	(E19)
	EM-EEF2.0-3C	(E19)

(特記事項)	
図中特記なき記号は下記による。	
	引込開閉器盤
	電灯分電盤
	LEDベースライト
	LEDスポットライト
	埋込コンセント 2P15A x 2
	防水コンセント 2P15A x 2
	シャッタースイッチ
	LED避難口誘導灯

A	LEDベースライト
3台	LED 10000lm 5000K 56W 昼白色

B	LEDスポットライト
2台	LED 1000lm 2700K 10.7W

a	LED避難口誘導灯
1台	C級 片面型 直付型 1.1W

工事名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)工事		
路線名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図面名	倉庫電気設備図		
縮尺	S=1：50 (A1) S=1：100 (A3)	図面番号	10/13
春日部市 社会教育部 スポーツ推進課			

特記事項										分電盤名称		分電盤仕様		回路		遮断器		付属機器		負荷容量 (VA)			負荷名称																											
盤仕様	材質		形状		構造 1		構造 2		塗装		幹線記号	結線図	記号	記号	記号	記号	照明	コンセント	その他	備考	幹線記号	結線図	記号	記号	記号	記号	照明	コンセント	その他	備考																				
	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様																					記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
	A1	スチール	B1	露出	C1	標準	D1	折曲	E1	焼付 (標準)																					1φ3W	MCB3P2E	L1	-	-	-	-	-	-	-	-	分電盤 EM-CE5.5-3C E2.0	-	-	-	-	-	-	-	-
A2	ステンレス	B2	埋込	C2	防雨	D2	ビス止	E2	焼付 (指定)	100/200V	50AF50AT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																				
A3	合成樹脂	B3	自立	C3	防湿	D3	外扉付中扉付	E3	耐塩	E3.5	欠相保護付	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																				
		B4	壁掛	C4	耐火	D4	外扉付中扉無	E4	粉体																																									
		B5	半埋込	C5	耐熱 (一種)	D5	外扉無中扉付	E5	溶融亜鉛																																									
				C6	耐熱 (二種)	D6	外扉無中扉無																																											
回路	①	AC 100V	分岐回路	M1	MCCB 2P1E 20AT	M13	MCCB 3P3E 150AT	E7	ELCB 3P3E 10AT	1φ3W 100/200V EM-CE5.5-3C E2.0	引込開閉器盤 (A1, B1, C2, D1, E2)	A	M1	A	-	-	100	誘導灯 (ロック付)																																
	②	AC 200V		M2	MCCB 2P2E 20AT	M14	MCCB 3P3E 175AT	E8	ELCB 3P3E 15AT																																									
	③	AC 1φ3W 200/100V		M3	MCCB 2P2E 30AT	M15	MCCB 3P3E 200AT	E9	ELCB 3P3E 20AT																																									
	④	AC 1φ2W 200		M4	MCCB 3P3E 20AT	M16	MCCB 3P3E 225AT	E10	ELCB 3P3E 30AT																																									
	⑤	AC 3φ200V		M5	MCCB 3P3E 30AT	M17	MCCB 3P3E 245AT	E11	ELCB 3P3E 40AT																																									
	⑥	AC 100V (消防負荷)		M6	MCCB 3P3E 40AT	M18	MCCB 3P3E 250AT	E12	ELCB 3P3E 50AT																																									
	⑦	AC 100V (消防負荷)		M7	MCCB 3P3E 50AT	E1	ELCB 2P1E 20AT	E13	ELCB 3P3E 60AT																																									
	⑧	AC 100V (消防負荷)		M8	MCCB 3P3E 60AT	E2	ELCB 2P2E 20AT	E14	ELCB 3P3E 75AT																																									
	⑨	AC 100V (消防負荷)		M9	MCCB 3P3E 75AT	E3	ELCB 2P2E 30AT	E15	ELCB 3P3E 100AT																																									
	⑩	AC 100V (消防負荷)		M10	MCCB 3P3E 100AT	E4	ELCB 3P2E 10AT	E16	ELCB 3P3E 125AT																																									
	⑪	AC 100V (消防負荷)		M11	MCCB 3P3E 120AT	E5	ELCB 3P2E 20AT	E17	ELCB 3P3E 150AT																																									
	⑫	AC 100V (消防負荷)		M12	MCCB 3P3E 125AT	E6	ELCB 3P2E 30AT	E18	ELCB 3P3E 175AT																																									
回路方式										回路図		備考																																						
標準回路										A																																								
PBS操作回路										B				● 押釦スイッチ																																				
遠方操作回路										C				● 手元-自動																																				
タイマー回路 (接点利用)										D				○ 24h 2接点 (停電補償付)																																				
タイマー回路 (MC利用)										E				MC 電磁接触器																																				
自動点滅器回路										F				● 手元-自動																																				
自動点滅タイマー併用										G				○ 24h 2接点 (停電補償付) ● 手元-自動																																				
多重伝送 20A 7線ハワーリモコンリレー										H1 H2				a 20A 7線ハワーリモコンリレー b T/U 制御 リレー制御用 T/U 4回路用 H1 20A 7線ハワーリモコンリレー片切 H2 20A 7線ハワーリモコンリレー両切																																				
リモコン伝送回路 多重伝送ユニット回路										I				NF-TF ノイズ フィルタランス																																				
多重伝送 T/U付6Aリレー (4回路)										J1 J2				c T/U付6Aリレーユニット J1 T/U付6Aリレーユニット片切 J2 T/U付6Aリレーユニット両切																																				
多重伝送 自動点滅器タイマ併用										K				d EE SW 電子式自動点滅器 HC リレー HC9リレー e 接点入力 T/U (1入力用)																																				
多重伝送 調光ユニット										L1 L2				f T/U付調光ユニット L1 白熱灯 500W L2 白熱灯 800W																																				
●										○																																								
1. 特記なき漏電遮断器の定格感度電流及び動作時間は、30mA 0.1、0.3秒切り替え型とする。										2. 耐熱形分電盤仕様は、(防災設備の電源と配線に関する) JECA1032による。		3. 非常照明回路、誘導灯回路、自動火災報知設備回路及び非常放送設備回路等の電源は、配線用遮断器にはその表示を赤字で明記し、トリップ防止キャップを設ける。		4. 主幹 (配線用遮断器) は、中性線欠相保護付とする。																																				
AL 警報スイッチ										EAL 漏電警報スイッチ		UVT 不足電圧引き外し装置																																						
AX 補助スイッチ										SHT 電圧引き外し装置																																								

\* 特記事項・凡例

防火区画貫通処理

電力量計収容箱

引込総合盤

住宅分電盤

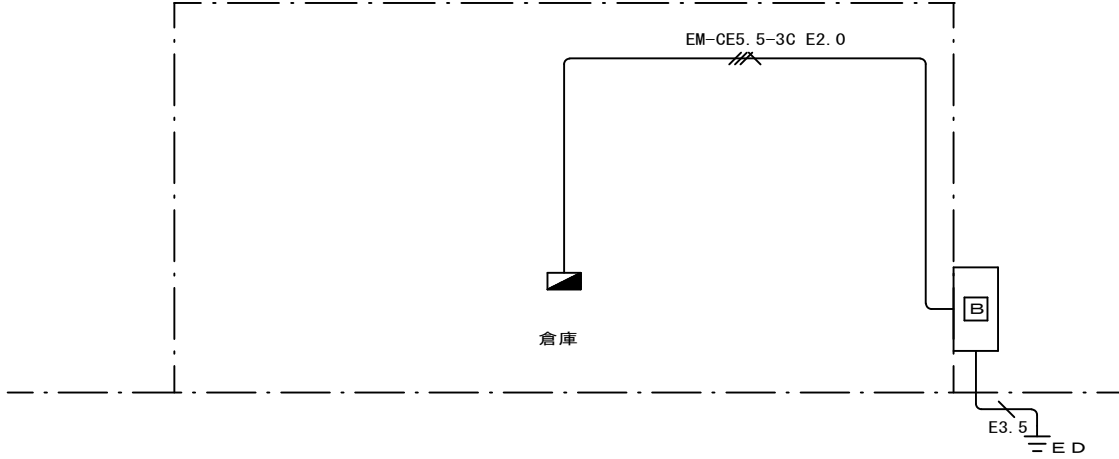
ハワーコンディショナ

※UFR検出時限2.0秒に設定

工 事 名	大沼公園広域受援拠点施設整備附帯(その2)工事		
路 線 名			
工事箇所	春日部市大沼七丁目地内		
図 面 名	倉庫盤図・系統図		
縮 尺	-	図面番号	11/13

\* 特記事項・凡例

- 防火区画貫通処理
- 電力量計収容箱
- 引込総合盤
- 住宅分電盤
- パワーコンディショナ
- ※UFR検出時限2.0秒に設定



S=1 : 40 (A3)

S=1 : 100 (A3)

